OOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.03.30 作成

2023年3月新聞書評に掲載された本



学校がしんどい先生たちへ~それでも教員をあきらめたくない私の心を守る 働き方~

2023:2./ 191p 978-4-04-606086-0 ¥1,650〔稅込〕



ゆきこ先生 著

KADOKAWA

子どもたちに笑顔で向き合うため、パンク寸前の心に余裕をつくる! しんどさを感じ ている先生に向けて、知るだけで心が軽くなる、先生としての働き方、在り方、関わ り方を Q&A 形式で紹介する。

産経新聞 2023/03/04



人事ガチャの秘密〜配属・異動・昇進のからくり〜(中公新書ラクレ 788)

藤井薫 著

中央公論新社

配属、上司、異動、昇進…。人事は何を企図して行われているのか。延べ86社の人 事部管理職へのヒアリング調査をもとに、人事異動のパターンを分析。一見ブラック ボックスのように思われる人事異動を解明する。

2023:2./ 269p 978-4-12-150788-4 ¥990〔税込〕



産経新聞 2023/03/04



小さな思いつき集~エプロンメモ~

暮しの手帖編集部 編

暮しの手帖社

暮らしが少しでも便利に、楽しく、すてきになるヒントやアイデアを集めた『暮しの 手帖』の長期連載「エプロンメモ」。今の暮らしにも役に立つ628編を、早春、春、 初夏、夏、秋、冬に分けて厳選紹介する。

2023:2./ 232p 978-4-7660-0228-7 ¥1.540〔稅込〕



産経新聞 2023/03/04



たりる生活

群ようこ 著

朝日新聞出版

愛猫を見送り、27年間住んだ、一人暮らしには大きすぎる部屋をいよいよ離れるこ とに-。<終活>の第一歩、身軽な生活を手にするための引っ越しエッセイ。『一冊の 本』連載を加筆修正し書籍化。

2022:12./ 235p 978-4-02-251867-5 ¥1,430〔稅込〕



産経新聞 2023/03/05

- ●ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- ●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- ●表示価格は 2023 年 3 月時点での税込み価格です



欧州戦争としてのウクライナ侵攻(新潮選書)

鶴岡 路人 著

新潮社

ロシアによるウクライナ侵攻は、NATOの関与が深まるとともに欧州全域への影響が大きくなり、「欧州戦争」と呼ぶべきものへと変容した。この大転換の構造を分析し、「ウクライナ後の世界」の課題と日本の選択を探る。

2023:2./ 287p 978-4-10-603895-2 ¥1,815〔税込〕



2022:12./279p

978-4-583-11518-4

¥1,870〔稅込〕

産経新聞 2023/03/05



南海ホークス 1938 年?1988 年 \sim 「反発」の力が生む輝きと挫折 \sim (プロ野球球団ドラマシリーズ)

ベースボールマガジン編集部 編

永井 良和 著

ベースボールマガジン社

歓喜に沸いた日本一、球史に名を刻んだ名将、400 フィート打線。多くのファンに愛された「南海ホークス」とはなんだったのか? 光と影を味わった激動の 50 年の真実を描く。『ベースボールマガジン』掲載に加筆・修正。

産経新聞 2023/03/05



天文学者は星を観ない

シム・チェギョン 著

亜紀書房

すべては「やってみたい」から始まる! これからの月研究をリードする天文学者が、 宇宙研究の現場をわかりやすく紹介するとともに、キャリアを築くことの難しさ、働 く母親の本音などを綴る。 2022:12./ 255p 978-4-7505-1770-4 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/03/05



ウクライナ戦争と向き合う〜プーチンという「悪夢」の実相と教訓〜(法と哲学新書)

井上 達夫 著

信山社出版

世界に亀裂を走らせているウクライナ戦争の性質と原因を解明。世界が壊れないよう、この亀裂の拡大を止める方途と、日本がこの亀裂で壊されないために解決すべき 課題を考察する。

産経新聞 2023/03/05

2022:9./ 12p,268p 978-4-7972-8160-6 ¥1.320〔税込〕





世界を動かした素敵な女性トップリーダー23 人〜国際的に活躍できる日本の女性リーダーを創る〜

2023:1./ 307p 978-4-86306-164-4 ¥1,760〔税込〕



山中 燁子 著 産経新聞出版

地球温暖化とポストコロナの時代に、日本の女性リーダーたちにはどのような視点・ 資質・要件などが期待されるのか。世界で活躍した女性たちの足跡をたどり、現代の 日本の女性リーダー像を考察する。

産経新聞 2023/03/05



いちじくのはなし

しおたにまみこ 著 ブロンズ新社

キッチンでお話会の貼り紙を見つけたたまごは、マシュマロと一緒にでかけることに。果物かごの前は大賑わい。しばらくするといちじくがあらわれ、冒険物語を話し始め…。ほらふきいちじくが大活躍するお話を3話収録。

2023:2./ 48p 978-4-89309-715-6 ¥1,210〔稅込〕



産経新聞 2023/03/05



テーゲベックのきれいな香り

山﨑 修平 著河出書房新社

西暦 2028 年・東京。その地で「わたし」は「わたし」を語りだす。繰り返される「わたし」。その先に浮かび上がるのは、「わたし」という徹底的なる虚構。やがて「わたし」の「五感」は消失し…。気鋭の詩人が挑んだ小説。

2022:12./ 257p 978-4-309-03088-3 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/03/05、毎日新聞 2023/03/25



図解はじめての絵画(小学館の図鑑 NEO アート)

小学館

世界の名画約 360 点を取り上げ「何が描かれているか」「どのように表現されているか」などのテーマで、絵画の見方をわかりやすく解説する。図解イラストや部分図、さらに絵の理解が深まる情報等も掲載。ワイドページあり。

2023:2./ 279p 978-4-09-217266-1 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2023/03/11



消費社会を問いなおす(ちくま新書 1706)

貞包 英之 著

筑摩書房

大量消費の限界に向き合いつつ、消費社会が私たちにもたらした「自由」の意味をあらためて問いなおし、消費社会の持つ可能性について、ベーシックインカムをはじめとする政策提言も視野に検討する。

2023:1./ 269p 978-4-480-07533-8 ¥968〔税込〕

産経新聞 2023/03/12



織物の世界史~人類はどのように紡ぎ、織り、纏ってきたのか~

ソフィ・タンハウザー 著

原書房

リネン、綿、絹、羊毛、化繊、デニム。世界を動かす「衣」の営みとは? 農業や製造、流通から階級、人種、ジェンダー、環境に表れたものまで、人間と布が織りなす社会と文化の足取りをたどる。

2022:12./ 408p,28p 978-4-562-07250-7 ¥3,960〔税込〕



産経新聞 2023/03/12



半導体戦争~世界最重要テクノロジーをめぐる国家間の攻防~

クリス・ミラー 著 ダイヤモンド社

半導体は石油以上の「戦略的資源」だった-。いびつな業界構造、発展の歴史、入り組んだ国家間の思惑を、多くの科学者、技術者、CEO、政府官僚へのインタビューに基づき、鮮やかに解説する。

2023:2./ 551p 978-4-478-11546-6 ¥2,970〔稅込〕



産経新聞 2023/03/12、東京・中日新聞 2023/03/26



一旦、退社。~50歳からの独立日記~

堀井 美香 著 大和書房

新しい場所に出たら、初めて見る景色に驚いた。時間の流れも時間の価値も明らかに違った-。50歳でTBSを退社した著者が、見本も模範もないフリーの世界に出た1年を綴った日記。ジェーン・スーとの対談も収録。

2023:2./ 235p 978-4-479-39399-3 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2023/03/18



世界を騙した女詐欺師たち

トリ・テルファー 著

原書房

巧みな言葉と行動力で宝石、車、家、遺産を手にする女詐欺師たち。何事にも動じない勇敢さで数々の障壁を突破し、ターゲットは痛みを感じる暇もなく騙されていく-。自信に満ち溢れた女たちを描くノンフィクション。

2023:2./ 363p 978-4-562-07254-5 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/03/18



香港陥落

松浦 寿輝 著

講談社

1941年、日本軍政前夜の香港。暗い過去を秘めた日英中の男 3 人が、ペニンシュラ・ホテルに集い、語り合う。やがて夜は更け、歴史が動き始め…。時代の狂風に翻弄される男達の愛と友情と苦悩を描く。『群像』掲載を書籍化。

産経新聞 2023/03/19

2023:1./ 252p 978-4-06-530023-7 ¥1,980〔税込〕





母という呪縛 娘という牢獄

齊藤 彩 著

講談社

「医学部 9 浪」の娘はなぜ母を刺殺したのか-。司法記者出身のライターが、獄中の娘と交わした膨大な量の往復書簡をもとにつづる、「学歴信仰」に囚われた人たち、そしてすべての母と娘に贈るノンフィクション。

2022:12./ 285p 978-4-06-530679-6 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/03/26



沖縄のいきもの~1000 を超える固有種が暮らす「南の楽園」~(中公新書 2735)

盛口満 著

中央公論新社

ノグチゲラはキツツキなのになぜ地面をつつくの? 瑠璃色に輝くゴキブリがいるって本当? イリオモテヤマネコはどうやって小さな西表島で生き延びたの? 沖縄、宮古、八重山、大東…島々の個性的な生き物たちを紹介する。

2023:1./ 6p,229p 978-4-12-102735-1

¥924〔税込〕



産経新聞 2023/03/26



土竜

高知東生 著 光文社

?客の父と、ネグレクトの果てに自死した母。17 歳で天涯孤独となった彼は、喧嘩と女に明け暮れ、全財産6万円を握りしめ上京する。そして、薬物に溺れ、どん底に堕ち…。絶望と再生の物語。『小説宝石』掲載を単行本化。

2023:1./ 233p 978-4-334-91508-7 ¥1,760〔稅込〕



産経新聞 2023/03/26



冷戦終焉期の日米関係~分化する総合安全保障~

山口 航著 吉川弘文館

総合安全保障とは何か。日米の政府機密解除文書や当事者への聞き取りに基づき、大平正芳・鈴木善幸・中曽根康弘政権とカーター・レーガン政権の政治外交過程を再現。当該期の日米同盟を多層性と多様性の概念を用いて論じる。

2023:1./ 7p,369p,10p 978-4-642-03922-2

¥9,900〔税込〕



産経新聞 2023/03/26



破果

ク・ビョンモ 著

岩波書店

守るべきものはつくらないを信条に、ハードな現場を生き抜いてきた 60 代女殺し屋・爪角。命あるものの温もりに気づいたとき、人生最後の死闘がはじまる-。韓国発の新感覚ノワール。

朝日新聞 2023/03/04

2022:12./ 274p 978-4-00-061576-1 ¥2,970〔税込〕





次郎物語<1>(岩波文庫 31-225-1)

下村 湖人 著

岩波書店

生後まもなく里子に出された次郎は、5、6歳になって生家に帰ってくる。しかし、自分に対する家庭の空気が冷たく感じられ…。おとなの愛に飢え、つらい運命にたえながらも成長する次郎の姿を、深く見つめて描く。

2020:4./ 360p 978-4-00-312251-8 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



悪人 新装版(朝日文庫 よ16-5)

吉田 修一 著朝日新聞出版

保険外交員の女が殺害された。捜査線上に浮かぶ男。凶行に及んだ彼と出会ったもう 1 人の女。なぜ事件は起きたのか。なぜ 2 人は逃げ続けるのか。そして、悪人とは一体誰なのか…。

2018:7./ 473p 978-4-02-264893-8 ¥836〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



傲慢と善良(朝日文庫 つ 20-1)

辻村深月 著朝日新聞出版

進学、就職、恋愛、友情、結婚…。あらゆる選択を決断してきたのは本当に「私自身」なのだろうか? 忽然と姿を消した婚約者の居場所を探すため、西澤架は、彼女の過去と向き合うことになるが…。恋愛ミステリ。

2022:9./ 503p 978-4-02-265059-7





朝日新聞 2023/03/04



にあんちゃん(角川文庫)

安本 末子 著

角川書店

昭和 28 年代、九州の炭坑町。両親がいない 4 人の子どもは、貧しさと不安に押し潰されず生きていた。苦境の中でも希望を捨てずにいた小学生の末子が、とりまく現実を率直に綴り大評判になった少女日記。

2010:2./ 282p 978-4-04-382101-3 ¥607〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04



華の人~有田に生きた薔薇の貴婦人・敏子の物語~(小学館文庫 い 42-1)

伊藤 緋紗子 著

小学館

大正時代。東京の女学校に通うモダンガールが大恋愛の末に嫁いだ先は、皇室御用達の名門窯元だった。自由な生き方を望みながらも激動の時代ゆえに受ける幾多の試練。明治、大正、昭和を熱く生きた女性「敏子」の生涯を追う。

2015:9./ 364p 978-4-09-406207-6 ¥737〔税込〕





幽世の薬剤師<3>(新潮文庫 nex こ-74-3)

紺野 天龍 著

新潮社

異界に迷い込んだ漢方診療科の薬剤師・霧瑚は、とり憑いた悪魔を祓う「エクソシスト」や、神秘を探求する「錬金術師」ら、様々な異能と出会い…。現役薬剤師による 医療ミステリー、第3弾。 2023:2./ 261p 978-4-10-180258-9

¥737〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04



佐賀のがばいばあちゃん(徳間文庫)

島田 洋七 著 徳間書店 朝日新聞 2023/03/04 2004:1./ 237p 978-4-19-892000-5

¥565〔税込〕





教育大国シンガポール~日本は何を学べるか~(光文社新書 1238)

中野円佳 著

光文社

諸外国からの教育移住の多い国として知られるシンガポール。現地での取材やインタビュー調査などを通じて、その教育システムの実態を追うとともに、日本の共働き家庭の課題、世界の教育の今後について考える。

2023:1./ 232p 978-4-334-04645-3 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



友が消えた夏~終わらない探偵物語~(光文社文庫 も 25-1)

門前典之 著

光文社

名門大学演劇部の部員たちが、一夜にして首なし白骨死体と化した事件の詳細な記録が、連続窃盗犯の所持品から見つかった。犯人と目される人物の遺体も発見されるが、一級建築士で探偵の蜘蛛手啓司は…。

2023:2./ 412p 978-4-334-79483-5

¥902〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04



ユキとヨンホ~白磁にみせられて~

中川 なをみ、舟橋 全二 著

新日本出版社

廻船問屋の使用人として、買い付けに各地を飛び回っていたユキ。有田の地で、朝鮮から無理矢理連れてこられた陶工たちと出会い、白い土が手に入れば、日本でも美しい磁器ができるかもしれないと知ったユキは…。

2014:7./ 189p 978-4-406-05805-6 ¥1,650〔税込〕





マザーツリー~森に隠された「知性」をめぐる冒険~

スザンヌ・シマード 著

ダイヤモンド社

森林は「インターネット」であり、菌類がつくる「巨大な脳」だった-。木々をつなぐハブとなり、次世代を育む「マザーツリー」の驚くべき機能とは?気候変動が注目される今、自然の中の「秘められた知性」に耳を傾ける一冊。

2023:1./ 573p 図版 16p 978-4-478-10700-3 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



シン・中国人〜激変する社会と悩める若者たち〜(ちくま新書 1710)

斎藤 淳子 著

筑摩書房

待ったなしの少子化、激変する結婚・住宅事情、若者の奮闘と苦悩…。圧縮された国際化と市場化の激流の中で、中国の市井の人々、特に若者は何を思い、人生を歩むのか。ニュースの裏側の中国の「ガチの素顔」をレポートする。

2023:2./ 250p,4p 978-4-480-07538-3

¥946〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04



ダイヤル7をまわす時(創元推理文庫 M あ 1-16)

泡坂妻夫 著東京創元社

事あるごとにいがみ合う、暴力団・北浦組と大門組。ある日、北浦組の組長が殺害される。殺害後の現場で犯人が電話を使った痕跡が見つかり…。「ダイヤル7」をはじめ全7編を収録した、読めば必ず騙される傑作短編集。

2023:2./ 308p 978-4-488-40226-6

¥968〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



社長たちの映画史〜映画に賭けた経営者の攻防と興亡〜

中川 右介 著

日本実業出版社

乗っ取り、引き抜き、分裂、独立。スクリーン外のバトルは、映画を観るより面白い! 戦後復興とともに「娯楽の王様」となり、1950年代に全盛期・黄金時代を迎えた映画会社の攻防と興亡を、社長たちを主人公に描く。

2023:1./ 541p 978-4-534-05978-9 ¥2,420〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04



ひとりだから楽しい仕事~日本と韓国、ふたつの言語を生きる翻訳家の生活

 \sim

クォン・ナミ 著

平凡社

人生という果てのない荒野を、軽やかにスキップしながら切り拓いていく-。村上春樹、三浦しをん、益田ミリ作品など 300 冊以上の日本文学を翻訳した韓国の人気翻訳家がユーモアたっぷりにつづる日常エッセイ。

朝日新聞 2023/03/04

2023:1./ 233p 978-4-582-83916-6 ¥2,640〔税込〕





シベリアの森のなかで

シルヴァン・テッソン 著 みすず書房

雪と森と山と湖、野生動物、森林保護管や漁師との交流、そして読書・。冒険家で作家の著者が、バイカル湖畔の小屋で過ごした日々を綴った日記。孤独と内省のなかで人生の豊かさを見つめ直す、現代版「森の生活」。

2023:1./ 275p 978-4-622-09595-8 ¥3,960〔税込〕

朝日新聞 2023/03/04



柏木義円〜徹底して弱さの上に立つ〜(ミネルヴァ日本評伝選)

片野 真佐子 著 ミネルヴァ書房

群馬県安中教会の牧師として終生を地域伝道に尽くしながら、言論弾圧に対してキリスト者の立場から広く社会問題に批判を繰り広げた柏木義円。様々な視点から、真摯な信仰実践者の思想と人生を描き出す。

2023:1./ 19p,267p,7p 978-4-623-09451-6

¥3,850〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04



塩とコインと元カノと~シャドウライフ~

ヒロミ・ゴトー 著

生活書院

76 歳の日系カナダ人クミコはケアつきホームから逃げだし、イースト・バンクーバーの街なかに部屋を借りた。ささやかな楽しみを満喫するクミコを狙い、ケアホームから「死の影」が後をつけてきて…。グラフィックノベル。

2023:1./ 349p 978-4-86500-149-5 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



宝ケ池の沈まぬ亀<2> ある映画作家の日記 2020-2022

青山 真治 著

boid

2022 年 3 月に 57 歳の若さで逝去した映画監督・青山真治。2020?2022 年、その死の直前まで綴られた濃密な 1 年半の記録。『boid マガジン』連載に、未掲載の最期の 1 か月分を加えて書籍化。

2022:12./ 586p 978-4-9912391-1-3

¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04



アマルティア・セン回顧録<上> インドでの経験と経済学への目覚め

アマルティア・セン 著

勁草書房

イギリス領インドで生まれ、ノーベル経済学賞を受賞した経済学者・哲学者、アマル ティア・センの回顧録。上は、原点となる少年時代の体験から大学で最先端の経済学 に出会うまでを、独特のユーモアを交えて語る。

朝日新聞 2023/03/04、日本経済新聞 2023/03/18

2022:12./ 16p,264p,10p 978-4-326-55089-0

¥2,970〔稅込〕





アマルティア・セン回顧録<下> イギリスへ、そして経済学の革新へ

アマルティア・セン 著

勁草書房

イギリス領インドで生まれ、ノーベル経済学賞を受賞した経済学者・哲学者、アマルティア・センの回顧録。下は、イギリス留学から厚生経済学という新たな学問を切り開いていくまでを、独特のユーモアを交えて語る。

2022:12./ 5p,270p,14p 978-4-326-55090-6 ¥2,970〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/04、日本経済新聞 2023/03/18



黒い海〜船は突然、深海へ消えた〜

伊澤 理江 著

講談社

2008年、太平洋上で碇泊中の中型漁船が突如として沈没、17人もの犠牲者を出した。"沈みようがない状況"でなぜ悲劇は起こったのか。海難史上まれに見る未解決事件の謎に挑む。『SlowNews』連載を加筆し書籍化。

2022:12./ 301p 978-4-06-530495-2 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/03/04、毎日新聞 2023/03/04



哲学がわかる哲学の方法

ティモシー・ウィリアムソン 著

岩波書店

常識から出発する、思考実験する、論理的思考を育む、哲学史との関係を捉える…。 その方法、巧みなやり方を探りながら、哲学とは一体何をすることなのか、また哲学 者は何を目指しているのかを、明快に描く。 2023:1./ 9p,183p,16p 978-4-00-024065-9

¥2,200〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/11



気候民主主義~次世代の政治の動かし方~

三上 直之 著

岩波書店

無作為抽出型の気候市民会議、若者による気候ストライキなど、気候危機から脱するための新しい試みが欧州から広がっている。日本各地での取り組みも紹介しながら、持続可能な世界への手がかりを探る。

2022:5./ 15p,184p,6p 978-4-00-061532-7 ¥2,310〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



まくらの森の満開の下

春風亭一之輔 著

朝日新聞出版

コロナはなかなか収まらず、休演、代演が続くなか、ついに自身も感染し…。そんな 怒濤の日々をひたすら綴った「まくら=時事ネタ」エッセー全 110 本を収録する。

『週刊朝日』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/03/11

2023:1./ 284p 978-4-02-332276-9 ¥1,750〔税込〕





「心の病」の脳科学〜なぜ生じるのか、どうすれば治るのか〜(ブルーバックス B-2224)

林(高木) 朗子/加藤 忠史 著

講談社

うつ病、自閉スペクトラム症、ADHD、統合失調症、双極性障害…脳の中で何が起きているのか?様々な角度から精神疾患の解明に挑む研究者たちが、そのしくみから「治る病」にするための道筋までをわかりやすく紹介する。

2023:2./ 286p 978-4-06-528363-9 ¥1,210〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



満天のゴール(小学館文庫 ふ 29-2)

藤岡 陽子 著

小学館

星空が美しい医療過疎地。人生どん底のシングルマザー、人生に責められ続ける医師、人生をあきらめている老女。3人の出会いが、人生を変えてゆく…。希望をもたらす、人間味あふれる医療小説。NHK 4K ドラマの原作。

2023:3./ 349p 978-4-09-407234-1 ¥814〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



動的平衡<3> 新版 チャンスは準備された心にのみ降り立つ(小学館新書 444)

福岡 伸一 著

小学館

生命現象の核心を解くキーワード、それは「動的平衡」。哲学する生物学者が、生命のなりたち、ふるまい、ありよう、さらには組織論から芸術論までを、流麗な文章で綴る。新型コロナウイルスについての新章を加え新書化。

2023:2./ 269p 978-4-09-825444-6 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



占(新潮文庫 き-49-2)

木内 昇 著

新潮社

あの人の気持ちが知りたい-。納得のいく答えを求め、占い師を訪ね歩く女の行き着く先は? 揺れ動く女性心理を緻密に描く7つの短篇を収録。占星術師・鏡リュウジとの対談も掲載する。

2023:3./ 359p 978-4-10-101882-9 ¥781〔税込



朝日新聞 2023/03/11



綿の帝国~グローバル資本主義はいかに生まれたか~

スヴェン・ベッカート 著

紀伊國屋書店出版部

綿の歴史は資本主義の歴史であり、常に暴力と強制を伴っていた-。約5千年前のインドでつくり始められた綿糸や綿布。5大陸にわたる綿とそれに関わる人々の歩んだ道をたどり、現代世界の成り立ちと資本主義の本質を追究する。

朝日新聞 2023/03/11

2022:12./ 848p 978-4-314-01195-2 ¥4,950〔税込〕





環境正義~平等とデモクラシーの倫理学~

K.シュレーダー=フレチェット 著

勁草書房

環境に関する社会的公平性を問う「環境正義」の、平等、財産権、手続き的正義、インフォームドコンセント、世代間の公平、正当な補償といった概念を事例を通して解説。環境をめぐる不平等を是正するための理論と実践を示す。

2022:2./ 11p,353p,97p 978-4-326-10299-0

¥6,050〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



迷宮遊覧飛行

山尾悠子 著 国書刊行会

泉鏡花、澁澤龍彦、ボルヘス・デルヴォーら、偏愛する作家や画家をめぐる文章、自作解説、回想、掌篇小説など全 80 余編を収録。20 代から現在に至るまでを網羅した、初のエッセイ集成。書き下ろし「読書遍歴のこと」も掲載。

2023:1./ 494p 978-4-336-07462-1 ¥3,520〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



ヴィクトリアン・ホテル(実業之日本社文庫 し 10-1)

下村 敦史 著 実業之日本社

伝統ある超高級ホテル「ヴィクトリアン・ホテル」は明日、その歴史に幕を下ろす。 特別な一夜を過ごす女優、スリ、作家、宣伝マン、老夫婦、そしてベルマン。それぞれの思惑が交錯したとき運命の歯車が軋み始め…。 2023:2./ 348p 978-4-408-55788-5 ¥858〔税込〕



朝日新聞 2023/03/11



アイドルカ〜福岡発!西短 MP 学科が日本を楽しくする〜

今木清志 著

みらいパブリッシング

福岡が芸能人産出県といわれる謎を紐解きながら、地方都市におけるアイドルの生み出し方や役割、地方でエンタメ発信する魅力を解説。さらに、テレビの現場での学びや経験をもとに、アイドルをプロデュースする過程を描く。

2023:2./ 207p 978-4-434-31444-5 ¥1,650〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/11



銀座に住むのはまだ早い

小野寺 史宜 著

柏書房

東京 23 区に住んでみたい。と、昔から思ってきた。家賃 5 万円弱のワンルームなら、どこに住めるだろうか? 実際に探して歩いてみた。書き下ろし短編小説も掲載。 『SUUMO タウン』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/03/11

2023:1./ 285p 978-4-7601-5492-0 ¥1,870〔税込〕





顔のない遭難者たち〜地中海に沈む移民・難民の「尊厳」〜

クリスティーナ・カッターネオ 著

晶文社

世界中のあらゆる国々で発見される「身元不明の遺体」の背景にも、それぞれの名前 と物語がある。ヨーロッパではじめて移民遭難者向けデータバンクの創設に取り組 んだ法医学者によるノンフィクション。

2022:11./ 255p 978-4-7949-7336-8 ¥2,200〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/11



奪われたくらし~原発被害の検証と共感共苦~

髙橋若菜/藤川 賢/清水奈名子/関 礼子/小池由佳/阪本公美子/高橋知花 著

日本経済評論社

当たり前にくらしたかっただけなのに-。揺らぐ被ばく防護基準、住めないふるさ と、避難さえも「自己責任」とされる現実。福島原発事故による避難の苦悩や避難先 での生活の困難を、新潟県の調査を中心に明らかにする。

朝日新聞 2023/03/11

2022:3./ 23p,315p 978-4-8188-2607-6 ¥3,630〔稅込〕





戦前日本の私娼・性風俗産業と大衆社会~売買春・恋愛の近現代史~

寺澤 優 著

有志舎

売春が合法とされていた時代に存在した違法な売春。それはなぜ存在し、人々はそこ に何を求め、モダニズム下でどのように変容したのか。戦前日本の性風俗に関する意 識とその構造を明らかにする。

2022:12./ 7p,311p,4p 978-4-908672-61-3 ¥5,500〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/11



スマック~シリアからのレシピと物語~

アナス・アタッシ 著

2 nd Lap

ムサッバハ(ひよこ豆、ヨーグルトとタヒーニのソース)、マクルーベ(ナスと牛肉のピ ラフ)...。シリア料理のレシピを、写真やエッセイとともに紹介する。アメリカ公共 ラジオ放送「NPR」が選ぶ 2021 年最高の料理本。

2023:1./ 247p 978-4-9912795-0-8 ¥4,620〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/11、毎日新聞 2023/03/11



ウクライナ戦争をどう終わらせるか~「和平調停」の限界と可能性~(岩波 新書 新赤版 1961)

東 大作 著

岩波書店

非道で残酷なウクライナ戦争を終結させるには。周辺国や大国をはじめとする国際社 会、そして日本が果たすべき役割とは何か。隣国での現地調査を踏まえ、第二次世界 大戦後の各地の戦争・内戦を振り返りつつ模索する。

朝日新聞 2023/03/18

2023:2./ 10p,191p,7p 978-4-00-431961-0 ¥1,012〔稅込〕





女だてら(角川文庫 時-も 18-7)

諸田 玲子 著

KADOKAWA

漢詩人・原古処の娘、みちは、亡き父と病身の兄から託された密命のため、若侍に姿を変え、江戸へと向かう…。実在した漢詩人・原采蘋の数奇な半生と秋月黒田家お家 騒動の内幕を描く。 2023:2./ 426p 978-4-04-112335-5

¥880〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18

絵のない絵本 改版(角川文庫 ア1-1)

アンデルセン 著

角川書店

朝日新聞 2023/03/18

2003:5./ 163p 978-4-04-216504-0 ¥374〔税込〕





マルクス〜生を呑み込む資本主義〜(講談社現代新書 現代新書 100 2695)

白井 聡 著

講談社

人々が「自分のもの」と信じて疑わない意識、感性、思考のなかにまで、資本主義が 浸透し、深化するとはどういうことかを、マルクスの理論を通じて検証。マルクスの 思想の核心部に迫る。 2023:2./ 126p 978-4-06-531196-7 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2023/03/18



悪者見参~ユーゴスラビアサッカー戦記~ 新版(集英社文庫 き 10-5)

木村 元彦 著

集英社

「世界の悪者」にされ、NATO の空爆にさらされたユーゴ。ストイコビッチに魅せられた著者が、旧ユーゴ紛争地を歩き、直に触れたすべてを綴った貴重な記録。2018年サッカーW 杯ロシア大会関連の追章を加えた新版。

2018:10./ 446p 978-4-08-745801-5 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2023/03/18



ぼっち死の館(ビッグ コミックス)

齋藤 なずな 著

小学館

舞台は高度経済成長期に建てられた団地。現在そこにはひとり身の老人たちがいつか訪れる孤独死、「ぼっち死」を待ちながら猫たちと暮らしている。 そんな彼女らが明日迎える現実は、どんな物語なのか -

2023:2./ 224p 978-4-09-861635-0 ¥1.280〔稅込〕





カンガルー・ノート 改版(新潮文庫 あ-4-24)

安部 公房 著

新潮社

ある朝突然、<かいわれ大根>が脛に自生していた男。訪れた医院で、麻酔を打たれ意 識を失くした彼は、目覚めるとベッドに括り付けられていた。彼は硫黄温泉行きを医 者から宣告され…。冥府巡りの末に彼が辿り着いた先とは?

2015:12./ 247p 978-4-10-112124-6 ¥539〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



あかあかや明恵

梓澤 要 著

新潮社

武家に生まれながら 16 歳で出家し、人里離れた山奥で修行することを愛した明恵。 承久の乱で朝廷軍の敗残兵をかくまったが、その教えに打たれた幕府軍の総大将・北 条泰時が後に帰依したという華厳宗中興の祖の生涯を描く。

2023:1./ 237p 978-4-10-334536-7 ¥2,090〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



いちばんここに似合う人(CREST BOOKS)

ミランダ・ジュライ 著

新潮社

水が一滴もない土地で、老人たちに洗面器で水泳を教えようとする娘を描いた「水泳 チーム」など、孤独な魂たちが束の間放つ生の火花を鮮やかに写し取った全 16 作を 収録。カンヌ映画祭新人賞受賞の女性映画監督による初短篇集。

2010:8./ 282p 978-4-10-590085-4 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2023/03/18



日本史を暴く〜戦国の怪物から幕末の闇まで〜(中公新書 2729)

磯田道史 著

中央公論新社

明智光秀が織田信長を欺けた理由、赤穂浪士が「吉良の首」で行った奇妙な儀式、漏 洩していた孝明天皇の病床記録...。古文書と格闘し続ける著者が戦国、江戸、幕末の 「歴史の裏側」を明らかにする。『読売新聞』連載を加筆修正。

2022:11./6p,237p 978-4-12-102729-0

¥924〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



脱「中国依存」は可能か~中国経済の虚実~(中公選書 132)

三浦有史 著

中央公論新社

世界経済における中国の重みは増しているが、「中国依存」に対する不安も急速に高 まっている。各種の統計データに基づき、中国経済の正しい見方を提示する。あわせ て習近平政権下の経済政策・経済問題を検討する。

¥1,980〔稅込〕

2023:1./ 11p,282p

978-4-12-110133-4





ソクチョの冬

エリザ・スア・デュサパン 著

早川書房

わたしが働いているソクチョの小さな旅館に、フランス人のバンド・デシネ作家がや って来る。彼の中に、わたしは未だ見ぬフランス人の父と父の国への憧憬を重ねるが ...。男女の一期一会を描く長篇。

2023:1./ 183p 978-4-15-210202-7 ¥2,640〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



オシムの言葉 増補改訂版(文春文庫 き 38-1)

木村 元彦 著 文藝春秋

Jリーグ屈指の美しい攻撃サッカーはいかにして生まれたのか。ジェフ千葉を初タイ トルに導いた名将が、秀抜な語録と激動の半生から日本人に伝えるメッセ-ジ。人の 心を動かす、その言葉の背景にあるものとは?

2014:1./357p 978-4-16-790020-5



朝日新聞 2023/03/18



モレル谷の奇蹟

ディーノ・ブッツァーティ、中山 エツコ 著 河出書房新社

沈没する船、巨大な化け猫、空飛ぶクジラ...。「不可能を可能にする聖女」リータが 起こしたとされる、虚実が分かちがたく奇想天外な奇蹟の物語を、ペンと絵筆によっ てあらわしたブッツァーティの遺作。

2015:4./ 126p 978-4-309-20673-8 ¥2,970〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



リスボン災害からの都市再生

大橋 竜太 著

彰国社

1755年11月1日、ポルトガルの首都・リスボンを襲った大地震。その復興によっ て、近代都市リスボンが誕生した。都市の震災復興について、建築史または都市史的 観点から考察する。

2022:12./ 244p,18p 978-4-395-32186-5 ¥3,520〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



天保十四年のキャリーオーバー(PHP 文芸文庫 い 2-6)

五十嵐 貴久 著

PHP研究所

天保 14 年 11 月。南町奉行・鳥居耀蔵への復讐に燃える七代目市川團十郎は、鳥居 に父を無実の罪で陥れられた鶴松と出会う。鶴松は鳥居がためこんだ百万両を奪い取 ろうとしていて...。

¥990〔稅込〕

978-4-569-90267-8

2023:1./ 382p



告白 限定特装版

湊かなえ 著 双葉社

朝日新聞 2023/03/18

2023:3./ 268 p 978-4-575-24592-9 ¥5,280〔税込〕





ビルマに見た夢(双葉文庫 こ-17-03)

古処誠二 著

双葉社

第二次世界大戦下、ビルマの山村地帯で兵站勤務に就く軍曹の西隈。現地の労務者をまとめてゆくなかで直面した、想定外の出来事とは。シビアな軍務と、安穏に暮らすビルマ人との狭間で、日本軍が達した境地を描く5編を収録。

2023:2./ 228p 978-4-575-52639-4



¥770〔税込〕

朝日新聞 2023/03/18



語りと祈り

姜信子 著みすず書房

かつて物語の多くは、土地に息づく小さな神々の声をもって語られていたが、人々は 近代の到来とともに忘れていった。説経、山伏祭文など、「語り」の声に耳澄まし、 失われた声を追い来るべき「声」の場、詩の可能性を眼差す。 2023:1./ 315p 978-4-622-09569-9 ¥4,400〔税込〕



朝日新聞 2023/03/18



山怪~山人が語る不思議な話~<朱>

田中 康弘 著 山と渓谷社

東京近郊で大人気の高尾山。茶店で働く店員が後片付けをしていると、どこからともなく声が…。北海道から宮崎県までの山間部を巡り、多くの人たちから聞いた「山の怪」の話をまとめた現代版「遠野物語」。

2023:1./ 254p 978-4-635-32017-7 ¥1,430〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



奥村靫正作品集

奥村 靫正 著 グラフィック社

伝統と近代、西洋と東洋、創造と引用、手仕事とコンピュータの間を自在に行き来し、日本のグラフィックデザインの世界性を体現するデザイナー、奥村靫正の作品集。70年代後半から現在までのグラフィックワークを収録する。

朝日新聞 2023/03/18

2023:3./ 273p 978-4-7661-3655-5 ¥5,500〔税込〕





コソボ苦闘する親米国家~ユーゴサッカー最後の代表チームと臓器密売の現場を追う~

2023:1./ 255p 978-4-7976-7420-0 ¥1,980〔税込〕



木村 元彦 著

集英社インターナショナル

旧ユーゴスラビア 7 つ目の独立国として誕生したコソボ。その地で、NATO による空爆以降、3000 人もの市民が拉致・殺害され、臓器売買の犠牲者になった-。サッカーを視点の軸に、コソボの民族紛争と殺戮の現場を追う。

朝日新聞 2023/03/18

年をとったワニの話

年をとったワニの話(福音館文庫)

レオポルド・ショヴォー 著

福音館書店

10 世紀もの年をへたワニは故郷をすててナイル川を下り、海に出て 12 本足のタコと 恋仲になるのですが…。にがいユーモアにみちた表題作ほか、奇想あふれる全 4 篇を 収録。再刊。

朝日新聞 2023/03/18

2002:11./ 285p 978-4-8340-1900-1 ¥770〔税込〕



中国シリコンバレーの先駆者たち

寧肯 著

科学出版社東京

深センと並んで IT 産業基地として世界に名をとどろかせている北京中関村。そこは北京市においてイノベーションの中心地となっている。成功を収めた 19 人の悪戦苦闘の道程を活写したルポルタージュ。

2022:12./ 6p,360p 978-4-907051-82-2 ¥5,280〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/18



逃亡の書~西へ東へ道つなぎ~

前川 仁之 著

小学館

済州島のイエメン難民、亡命したカタルーニャの音楽家パウ・カザルスとドイツのユダヤ系作家ヴァルター・ベンヤミン、ウクライナ避難民…。時代も場所も異なる人びとの「逃げる技法」を実装するための思想書。

2023:1./ 335p 978-4-09-388896-7 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/03/18、日本経済新聞 2023/03/18



満蒙開拓団〜国策の虜囚〜(岩波現代文庫 学術 461)

加藤 聖文 著

岩波書店

「王道楽土」「民族協和」の美名のもとに「国策の虜囚」となった満蒙開拓民。厳しい生活、敗戦で難民となった悲惨な体験、残留孤児をめぐる国策のツケ。移民の計画から終局、そして戦後史までの全歴史をたどる。

朝日新聞 2023/03/25

2023:2./ 13p,290p,7p 978-4-00-600461-3

¥1,672〔税込〕





ケチる貴方

石田 夏穂 著

講談社

冷え性と脂肪吸引。文学界が最も注目する作家による身体性に根差した問題作。第 44 回野間文芸新人賞候補となった表題作と第 38 回大阪女性文芸賞受賞作を収録す る。『群像』『鐘』掲載を大幅に加筆・改稿。 2023:1./ 125p 978-4-06-530358-0 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



すみれの花、また咲く頃~タカラジェンヌのセカンドキャリア~

早花 まこ 著

新潮社

あなたにとって、宝塚とは?トップスターから専科生まで、9名の元タカラジェンヌを徹底取材。それぞれの現役当時の喜びと葛藤、次なる挑戦に迫るインタビュー集。 Web マガジン『考える人』連載を加筆修正し、単行本化。 2023:2./ 253p 978-4-10-354921-5 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



天誅組の変~幕末志士の挙兵から生野の変まで~(中公新書 2739)

舟久保藍 著 中央公論新社

尊王攘夷の大義を掲げ、幕府に立ち向かった志士たちの蜂起は、時勢を見誤った暴挙だったのか。天誅組の変と、呼応して起きた但馬国生野の挙兵事件(生野の変)を明治維新に至る運動の先駆と捉え、その全貌を描く。

2023:2./ 6p,231p 978-4-12-102739-9

¥924〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



インヴェンション・オブ・サウンド

チャック・パラニューク 著

早川書房

「全世界の人々が同時に発する悲鳴」の録音を目指す音響技師ミッツィ。児童ポルノサイトで行方不明の娘を探し続けるフォスター。2人の物語が交錯するとき、ハリウッドに史上最悪の参事が訪れる...。

2023:1./ 255p 978-4-15-210200-3 ¥2,420〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/25



東北史講義<古代・中世篇>(ちくま新書 1712)

東北大学日本史研究室 編

筑摩書房

辺境で独自文化が生まれた理由とは。国家的な境界、人や物、言語、習俗、信仰など の活発な交流、東北地方の内側に形成された多様性に富む地域。これらの視点から東 北史を読み解く。

22 - 20 - 70 - 10

2023:3./ 268p 978-4-480-07521-5 ¥968〔税込〕





ポラリスが降り注ぐ夜(ちくま文庫 り9-1)

李 琴峰 著

筑摩書房

多様な性的アイデンティティを持つ女たちが集う二丁目のバー「ポラリス」。冴え冴えと輝く星に手を伸ばすように、魂の、身体の、触れあいを求めて二丁目を訪れる女たちの7つの物語。気鋭の台湾人日本語作家による純恋小説。

2022:6./ 296p 978-4-480-43824-9

¥858〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/25



82 年生まれ、キム・ジョン(ちくま文庫 ち 19-1)

チョ・ナムジュ 著

筑摩書房

ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生、学生時代、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。著者からのメッセージも収録。

2023:2./ 255p 978-4-480-43858-4



¥748〔稅込〕

朝日新聞 2023/03/25



あの頃、忌野清志郎と~ボスと私の 40 年~(ちくま文庫 か 85-1)

片岡 たまき 著

筑摩書房

衣裳係、マネージャーとして忌野清志郎の音楽活動を支えた著者が、40年間見つめてきた彼の素顔を愛情溢れる言葉で回想する。清志郎直筆の手紙やイラスト、清志郎亡きあとのエピソードを加えて文庫化。

2023:3./ 334p 978-4-480-43868-3

¥968〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/25



JFK~「アメリカの世紀」の新星 1917-1956~<上>

フレドリック・ロゲヴァル 著

白水社

ピュリツァー賞受賞の歴史家ロゲヴァルが、ジョン・F・ケネディの知られざる前半生を描いた評伝。出自から大統領選出馬の決意を固めるまでの 39 年間の道のりを辿り、JFK の実像に迫る。上は、第二次世界大戦を中心に収録。

2023:2./ 375p,32p 978-4-560-09479-2

¥6,600〔稅込〕



朝日新聞 2023/03/25



JFK~「アメリカの世紀」の新星 1917-1956~<下>

フレドリック・ロゲヴァル 著

白水社

ピュリツァー賞受賞の歴史家ロゲヴァルが、ジョン・F・ケネディの知られざる前半生を描いた評伝。出自から大統領選出馬の決意を固めるまでの 39 年間の道のりを辿り、JFK の実像に迫る。下は、政界進出などを収録。

2023:2./ 367p,58p 978-4-560-09487-7 ¥6,930〔税込〕





ニンジンジン(MOE のえほん)

キューライス 著

白泉社

にんじんの形をしている不思議な生きもの、ニンジンジン。それを食べるために追いかける、2 匹のウサギたち。ウサギたちはいろいろな方法でニンジンジンを捕まえようとするが、華麗にかわされてしまい…。

2023:3./ 1 冊(ページ付なし) 978-4-592-76318-5



¥1,430〔稅込〕

朝日新聞 2023/03/25



牧野富太郎と、山(ヤマケイ文庫)

牧野 富太郎 著 山と渓谷社

植物を観察・採集するために日本各地を訪れた、日本の植物学の父・牧野富太郎。幼 少期の思い出、植物を追い求めて遭難しかけた話など、山と植物にまつわる 35 のエ ッセイを選出。エッセイに登場する山のデータも掲載する。 2023:3./ 251p 978-4-635-04963-4



朝日新聞 2023/03/25



起業家フェリックスは 12歳

アンドリュー・ノリス 著

あすなろ書房

商品開発、集客と販売方法、web サイト立ち上げ、最強のチーム、そして税金?! ちょっとした思いつきから爆発的大ヒット商品をうみだした 12 歳の男の子を描いた、ビジネス入門物語。

2023:2./ 263p 978-4-7515-3136-5 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



音数で引く俳句歳時記<春>

西原 天気 編

草思社

定型にどう収めるかには音数がまず大事。いままで多くの人がひそかに悩んでいた音数と季語の問題をはっきりとさせ、実作に役立つように考案された画期的歳時記。春(立春から立夏の前日まで)の季語を収録。

2023:3./ 185p,13p 978-4-7942-2640-2

¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



ペイン・キラー~アメリカ全土を中毒の渦に突き落とす、悪魔の処方薬~

バリー・マイヤー 著

晶文社

全米を巻き込み、大統領による国家緊急事態が宣言された「処方薬」によるドラッグ 汚染<オピオイド>危機。依存性薬物に侵されたアメリカの実情に肉薄し、製薬会社の 闇を暴くノンフィクション。Netflix ドラマの原作。 2023:1./ 293p 978-4-7949-7349-8 ¥2,090〔税込〕





ムラブリ~文字も暦も持たない狩猟採集民から言語学者が教わったこと~

伊藤 雄馬 著

集英社インターナショナル

言葉とは、自由とはなにか?インドシナ最後の狩猟採集民・ムラブリ。タイとラオスの山奥に住む彼らの言語は消滅の危機にある。ムラブリ語に青春をささげた言語学者が、人間と言葉の新たな可能性を拓くノンフィクション。

2023:2./ 255p 978-4-7976-7425-5 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



はじめて学ぶ LGBT~基礎からトレンドまで~

石田 仁著

「性自認」「性的指向」といった基本的な用語、カミングアウトや学校教育、当事者の健康、法律上の問題、自治体の取り組み、市民生活…。さまざまなアプローチから、LGBT にまつわる基礎的な知識をわかりやすく解説する。

2019:1./ 263p 978-4-8163-6582-9



朝日新聞 2023/03/25



愛と差別と友情と LGBTQ+ \sim 言葉で闘うアメリカの記録と内在する私たちの正体 \sim

北丸 雄二 著

人々舎

苦難の中で LGBTQ+はどうやってアイデンティティを獲得していったのか。偏見を助長してきた言葉や文脈を更新し、日本で流通してきた「LGBTQ+」情報の空洞を埋める。『よみもの.com』連載他を加筆・集成。

2021:9./ 443p 978-4-910553-00-9 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2023/03/25



映画は子どもをどう描いてきたか

佐藤 忠男 著

岩波書店

映画から世界を丸ごと愛せるようになりたい-。著者が新聞や雑誌に書いた映画についての批評や論文の中から、とくに子どもや若者の描き方に興味をもって論じている文章を、生前自ら選び編んだ一冊。

2022:12./ 8p,322p,4p 978-4-00-022314-0 ¥2,970〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/05



木挽町のあだ討ち

永井 紗耶子 著

新潮社

雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が大事件の?末を聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相は…。『小説新潮』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/03/05

2023:1./ 267p 978-4-10-352023-8

¥1,870〔稅込〕





小さき者たちの

松村圭一郎 著

ミシマ社

気鋭の文化人類学者が、水俣に関するテキストを中心に、故郷・熊本のふつうの人び との暮らしの記録を読み解く。現代の歪みの根源を映し出す生活誌。ミシマ社のウェ ブ雑誌『みんなのミシマガジン』連載をもとに書籍化。 2023:1./ 205p 978-4-909394-81-1 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/05



国商〜最後のフィクサー葛西敬之〜

森功著

講談社

国鉄分割民営化で革マルと手を組み、右派・日本会議の黒幕として安倍晋三を裏で操った JR 東海の「総帥」葛西敬之。巨大広告主ゆえに週刊誌ですら触れられなかった、その知られざる素顔に迫る。

2022:12./ 313p 978-4-06-524127-1 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/12



西山太吉最後の告白(集英社新書 1145)

西山 太吉/佐高 信 著

集英社

沖縄返還密約が日本の形を変えてしまった。根源は岸、佐藤、安倍の三代にある-。 政府の機密資料をスクープした元毎日新聞記者・西山太吉が、その真意と日本政治の 裏面史を評論家・佐高信に語る。 2022:12./ 246p 978-4-08-721245-7 ¥1,045〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/12



ある愛の寓話

村山 由佳 著

文藝春秋

捨てられた猫、恋人の犬、カエルのぬいぐるみ…。言葉は伝わらなくても、わたしは愛している-。恋愛文学の第一人者・村山由佳のデビュー30年記念作品。「同じ夢」など全6編を収録。『オール讀物』掲載をまとめて単行本化。

2023:1./ 259p 978-4-16-391643-9 ¥1,870〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/12



テキヤの掟〜祭りを担った文化、組織、慣習〜(角川新書 K-410)

廣末 登著

KADOKAWA

商売の原初の形態といえるテキヤの露店。薄利の品を祭りで売る、縁日を支える人の 生活とは?オーラルヒストリーを通じ、ヤクザと無関係な組織も多いのに混同されや すい独自のギルドの仕組みとテキヤの裏面史を明らかにする。

東京・中日新聞 2023/03/19

2023:1./ 261p 978-4-04-082442-0 ¥1,034〔税込〕





書楼弔堂 待宵

京極 夏彦 著

集英社

扠、本日はどのようなご本をご所望でしょう-。日露戦争の足音が聞こえる明治 30 年代後半。古今東西の書物が集う書舗に迷える者達が訪れる。書楼弔堂シリーズ第 3 弾。『小説すばる』掲載を単行本化。

2023:1./ 512p 978-4-08-771820-1 ¥2,310〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/19



強欲資本主義は死んだ~個人主義からコミュニティの時代へ~

ポール・コリアー/ジョン・ケイ 著

勁草書房

自信過剰な経営者も、独善的な政治家や社会運動家も、目立ちたがりインフルエンサーも、行き過ぎた個人主義は社会を幸せにしない。コミュニティと市場が共存し、「共創」する新しい資本主義のための処方箋を提示する。

2023:2./ 20p,264p,29p 978-4-326-55092-0

¥3,850〔稅込〕



東京・中日新聞 2023/03/19



面会交流と共同親権〜当事者の声と海外の法制度〜

熊上 崇/岡村 晴美/小川 富之/石堂 典秀/山田 嘉則 著明石書店

共同親権には「美しい誤解」があまりに多い。離婚・別居後の、子どもと別居親の面会交流について、「裁判所決定の面会交流は、子どもの心身にとって有益か」という 視点に対する同居親や子どもの声、弁護士らの解説をまとめる。 2023:1./ 206p 978-4-7503-5520-7 ¥2,640〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/19



巴里うたものがたり

水原紫苑 著

春陽堂書店

オペラ座や美術館、ジェラール・フィリップゆかりの地や、大好きなカテドラル巡り、カフェ通い、ソルボンヌ大学文明講座への留学…。歌人・水原紫苑が長年の夢だった 80 日間の旅の日々を、写真と短歌で綴る。

2023:1./ 285p 978-4-394-98005-6 ¥2,090〔税込〕



東京・中日新聞 2023/03/26



アメリカ流転の 1950-2010s~映画から読む超大国の欲望~

丸山俊一 + N H K 「世界サブカル 著 祥伝社

理想、喪失、そして分断。1950年代から 2010年代に起きたアメリカの変化を、大衆の欲望が投影される象徴とも言うべき映画のスクリーンから読み取る。NHK の TV 番組をもとに書籍化。

東京・中日新聞 2023/03/26

2023:2./ 405p 978-4-396-61802-5 ¥2,200〔税込〕





ジェイン・エア<上>(岩波文庫 赤 232-1)

シャーロット・ブロンテ 著

岩波書店

伯母に疎まれ、寄宿学校に入れられた孤児ジェインは、18歳の秋、自由と自立を望み旅立つ。家庭教師に雇われた邸で待つ新しい運命とは…。主人公の真率な語りが魅力的な、読みつがれる愛の物語。

2013:9./ 440p 978-4-00-357002-9

¥1,177〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



ジェイン・エア<下>(岩波文庫 赤 232-2)

シャーロット・ブロンテ 著

岩波書店

身分と慣習を乗り越え結びあう二つの魂、その前に立ちはだかる過酷な事実。再び一人で歩きだしたジェインが、放浪の果てに出会うのは…。自由を求め、自らの意思で 運命を切り開く若い女性が語る、時代を超えた鮮烈な愛の物語。 2013:10./ 511p 978-4-00-357003-6



読売新聞 2023/03/05



科学にすがるな!~宇宙と死をめぐる特別授業~(岩波現代文庫 社会 335)

佐藤 文隆、艸場 よしみ 著

岩波書店

死ぬ意味、生まれてきた意味とは?「物理では人間はわからない、宇宙に死の答えを求めるな」と自身の科学論で答える宇宙物理学者と、それでも死の意味を問い続ける素人女性。3.11 をはさんだ厳しい苦闘の 1 年間の記録。

2023:1./ 4p,264p 978-4-00-603335-4

¥1,144〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



未来倫理(集英社新書 1148)

戸谷 洋志 著

集英社

気候変動、放射性廃棄物の処理、生殖細胞へのゲノム編集…。現在世代は未来世代に対して倫理的責任をどのように考え、どのように実践したらよいのか。倫理学の各理論を手掛かりに、未来倫理について解説する。

2023:1./ 233p 978-4-08-721248-8 ¥1,034〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



蛍川・泥の河 改版(新潮文庫)

宮本 輝 著

新潮社

土佐堀川に浮かんだ船に母、姉と暮らす不思議な少年喜一と小二の信雄の短い交流を描いて感動を呼んだ太宰治賞受賞の傑作「泥の河」。北陸富山の春から夏への季節の移ろいの中に中三の竜夫の、父の死と淡い初恋を螢の大群の美しい輝きの中に描いた芥川賞受賞の名編「螢川」。

読売新聞 2023/03/05

2005:11./ 199p 978-4-10-130709-1 ¥506〔税込〕





完本チャンバラ時代劇講座<1>(河出文庫 は 1-29)

橋本 治 著

河出書房新社

チャンバラ映画の面白さとは何だったのか。なぜ廃れてしまったのか-。チャンバラ 映画の枠組みを超えて「娯楽」の本質に迫った大衆文化論。1は「チャンバラ映画と はなにか」「これが通俗だ!」「格調の高さの研究」を収録。

2023:1./392p 978-4-309-41940-4 ¥1,210〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



完本チャンバラ時代劇講座<2>(河出文庫 は 1-30)

河出書房新社

チャンバラ映画の面白さとは何だったのか。なぜ廃れてしまったのか-。チャンバラ 映画の枠組みを超えて「娯楽 | の本質に迫った大衆文化論。2 は「チャンバラ映画の 流れと、青年の研究」「あの笑顔、そしてその笑顔」を収録。

2023:1./544p 978-4-309-41941-1 ¥1,430〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



作家超サバイバル術!

中山七里/知念実希人/葉真中顕 著 光文社

今をときめく人気作家3人が、「作家と新人賞|「作家とおカネ|「作家と映像化| 「作家と SNS」など 10 のテーマを、それぞれの経験をもとに綴る。特別鼎談も収 録。『小説宝石』連載を単行本化。

2022:12./273p 978-4-334-95352-2 ¥1,650〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



木下恵介とその兄弟たち

木下 忍 著

幻冬舎メディアコンサルティング

黒澤明とともに日本映画の両雄と呼ばれ、「二十四の瞳」「楢山節考」など、家族や 兄弟をテーマに多くの名作を残した映画監督が生まれた背景とは。残された貴重な手 紙や写真とともに、家族しか知り得ない生身の姿に迫る。

2022:12./251p 978-4-344-94215-8 ¥1,650〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



降福からの道~欲張り指揮者のエッセイ集~

井上 道義 著

三修社

日々の「歓び」が新たな道をつくる-。「クラシック音楽」の新たな視界を先頭に立 って開拓し続けてきた井上道義が、折々に綴った随想と実行の記録。公演パンフ、 『京都民報』『銀座百点』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

¥2,640〔稅込〕

978-4-384-06801-6

2023:1./309p





「覚える」と「わかる」〜知の仕組みとその可能性 \sim (ちくまプリマー新書417)

信原 幸弘 著

筑摩書房

「理解する」とはどういうことか? 空気を読む際、私たちの頭と感覚は何をどう察知しているのか? 丸暗記、身体で覚える、まねるといった学習の基本から、直観、批判的思考、知の可能性までを探る。

2022:12./ 190p 978-4-480-68441-7 ¥880〔税込〕



読売新聞 2023/03/05



まんがでわかる畑の虫~おもしろ生態と防ぎ方~

農山漁村文化協会

畑でよく見かける害虫たち 27 種が、いつごろ現れ、どのように葉を食べ、寒い冬はどうしているかなどを、まんがで紹介する。「農薬を使わない防ぎ方」も掲載。『現代農業』連載に描き下ろしを加え書籍化。

2022:11./ 78p 978-4-540-19124-4 ¥1,540〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



帝国ホテル建築物語(PHP 文芸文庫 う 1-4)

植松 三十里 著

PHP研究所

世界的建築家ライトの飽くなきこだわり、経営陣の追及、関東大震災…。1923年(大正 12年)に完成した帝国ホテル旧本館「ライト館」の建築にかけた男たちの熱い闘いを描いた長編小説。

2023:1./ 387p 978-4-569-90268-5

¥990〔税込〕



読売新聞 2023/03/05



伊藤仁斎〜孔孟の真血脈を知る〜(ミネルヴァ日本評伝選)

澤井 啓一著

ミネルヴァ書房

若くして朱子学に傾倒するも、やがて朱子学による解釈を排して孔子や孟子のテクストに直接向き合う古義学という方法を確立した伊藤仁斎。同時代の東アジアの思想空間の中で仁斎を位置づけ、その思想を浮かび上がらせる。

2022:12./ 14p,379p,5p 978-4-623-09502-5

¥4.400〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



バウムクーヘンの文化史~パン・料理・菓子、越境する銘菓~

三浦 裕子 著

青弓社

ユニークな形状の菓子、バームクーヘン。レシピの解読を中心にその変遷を考察し、 現在のバウムクーヘンに至る道のりを明らかにする。独自の発展を遂げた日本のバウ ムクーヘンにも言及。貴重なレシピの和訳や図版も多数収録。 2022:12./ 213p 978-4-7872-2097-4 ¥2.860〔稅込〕





織物の文明史

ヴァージニア・ポストレル 著

青土社

織物は文化、政治、経済、軍事など、あらゆる面で大きな影響をもたらした。先史時代から現代まで、世界中で人類の歴史を動かしてきたその軌跡と影響を、豊富な取材をもとに紡ぎ出す。

2022:12./ 427p,6p 978-4-7917-7522-4

¥3,520〔税込〕



読売新聞 2023/03/05



歴メシ!〜歴史料理をおいしく食べる〜 決定版

遠藤雅司 著

晶文社

最古のパン、中世のシチュー、ルネサンスの健康食…。オリエント&ヨーロッパ世界に存在した 12 の時代の歴史料理 60 品のレシピと共に、当時の食文化などを解説。 BS 松竹東急ドラマの原作。 2022:12./ 253p 978-4-7949-7342-9 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2023/03/05



マスターズ・オブ・ライト~アメリカン・シネマの撮影監督たち~ 完全版

デニス・シェファー/ラリー・サルヴァート 編 フィルムアート社

「地獄の黙示録」「タクシー・ドライバー」「天国の門」…。映画史を彩る名作の数々を手がけ、フィルム撮影の黄金期を駆け抜けた撮影監督たちによる貴重な証言集。世界中で読み継がれる名著に、4名を追加して復刊。

2023:1./ 530p,25p 978-4-8459-2108-9

¥3,850〔稅込〕



読売新聞 2023/03/05



仁義ある戦い~アフガン用水路建設まかないボランティア日記~

杉山 大二朗 著

忘羊社

就活に挫折し放浪したアジアの町で知ったアフガニスタンの中村哲医師の存在。50万人の命をつなぐ大工事の裏方として、肉体労働から料理番まで、悪戦苦闘した泣き笑いの6年間を、軽妙なマンガとエッセイで綴る。

2023:2./ 183p 978-4-907902-32-2 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/03/05



港町巡礼〜海洋国家日本の近代〜

稲吉 晃 著

吉田書店

島国・日本にとって海外への唯一の窓口であった港。近代日本の政治と社会のエッセンスが凝縮された場所として港町を捉え、函館、東京、横浜、舞鶴、神戸、下関、長崎、基隆など各地をめぐることで、日本の近代を描く。

2022:10./ 11p,312p,8p 978-4-910590-07-3 ¥2,860〔税込〕





荒地の家族

佐藤 厚志 著

新潮社

人が住み、出ていく。生まれ、死んでいく-。あの災厄から 10 年余り。生活も仕事道 具も攫われ、妻を喪った男はその地を彷徨い続けた。仙台在住の書店員作家が、止む ことのない渇きと痛みを描く。『新潮』掲載を単行本化。 2023:1./ 158p 978-4-10-354112-7 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/03/05、東京・中日新聞 2023/03/12



黄色い家〜SISTERS IN YELLOW〜

川上未映子 著中央公論新社

惣菜店に勤める花は、ニュース記事で黄美子が若い女性の監禁・傷害の罪に問われているのを見つけた。20年前花は、黄美子と少女たち2人と疑似家族のように暮らしていて…。『読売新聞』連載を書籍化。

2023:2./ 601p 978-4-12-005628-4 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2023/03/05、毎日新聞 2023/03/11



絵画の素~TOPICA PICTUS~

岡﨑 乾二郎 著岩波書店

絵をみることは、そのたびに絵を新たに発見すること。何かを生み出すことは、よりよく思い出すこと-。造形作家・批評家の岡崎乾二郎が<創作の秘密>を語る。webマ

2022:11./ 8p,459p,8p 978-4-00-061515-0 ¥5,500〔税込〕



読売新聞 2023/03/12

田紳有楽/空気頭(講談社文芸文庫)

ガジン『たねをまく』連載を書籍化。

藤枝 静男 著

講談社

あくまで私小説に徹し、自己の真実を徹底して表現し、事実の奥底にある非現実の世界にまで探索を深め、人間の内面・外界の全域を含み込む、新境地を拓いた、"私"の求道者・藤枝静男の「私小説」を超えた独自世界。

1990:6./ 297p 978-4-06-196083-1 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



シャンソンと日本人(集英社新書 1151)

生明 俊雄 著

集英社

シャンソンはいかに日本のポピュラー音楽の礎となり、日本人の音楽観に影響を与えてきたか。100年にわたる歴史と変遷、そこに躍動するアーティストたちのヒューマンドラマにスポットを当てる。

2023:2./ 251p 978-4-08-721251-8 ¥1,100〔税込〕





掌の小説 新版(新潮文庫 か-1-5)

川端 康成 著

新潮社

祖父の火葬をあつかった自伝的な「骨拾い」、砕け散ってしまった観音像を巡る「弱き器」など、内容のゆたかさ、心理の複雑さ、人間性にせまる鋭さに満ちた、作家・川端康成のあらゆる要素がふくまれた短編全 122 編を収録。

2022:4./ 652p 978-4-10-100241-5 ¥1,045〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



日本の歴史問題~「帝国」の清算から靖国、慰安婦問題まで~ 改題新版 (中公新書 2733)

波多野澄雄 著

中央公論新社

なぜ「戦後」は終わらないのか? 帝国の解体から東京裁判、靖国論争が始まる 1980 年代、慰安婦や領土をめぐり周辺諸国との軋轢が増す 2010 年代以降までの歴史問題を丹念に描出し、歴史和解の道筋を示す。

2022:12./ 6p,366p 978-4-12-102733-7 ¥1,100〔稅込〕



読売新聞 2023/03/12



イエス伝(中公文庫 わ 26-1)

若松英輔 著

中央公論新社

聖書には、不可視のコトバが無数に潜んでいる。そしてイエスの生涯には、立場の差 異を超え、作り手の衝動を著しく刺激する何かがある。先人たちの言葉を手がかりに 聖書を読み直す。「イエスの涙と悲しみの石」を加えて文庫化。 2023:1./ 339p 978-4-12-207313-5 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



人口で語る世界史(文春文庫 モ 5-1)

ポール・モーランド 著

文藝春秋

大英帝国の出現は産業革命と農業革命による人口爆発ありきだった。一方、ナチは優生学ゆえ人口増に失敗した-。気鋭の人口学者が「人口の大変革期」に当たる直近 200年を読み解いた、画期的な歴史教養書。 2023:2./ 468p 978-4-16-792006-7 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



詩の礫

和合 亮一著

徳間書店

放射能が降っています。静かな夜です…。3月 16 日午前 4 時 23 分の被災後最初のメッセージから 5月 26 日まで、福島在住詩人がツイッターで放った言葉・咆哮を収録。

読売新聞 2023/03/12

2011:6./ 263p 978-4-19-863193-2





プロの防災ヒント 180 警視庁災害対策課ツイッター

日本経済新聞出版 編

日経BP社

水で作るカップ焼きそば、ペットボトルで簡単ランタン…。災害時やもしものときに役立つ知恵と便利技を 180 紹介する。日付け記入欄あり。警視庁災害対策課のツイッターをもとに書籍化。

2023:3./ 222p 978-4-296-11739-0 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



世阿弥最後の花

藤沢 周 著

河出書房新社

永享6年、幽玄の美で室町の世を瞠目させた72歳の世阿弥元清が、咎なくして佐渡へと流された。彼の地でどう生き、何を見つけたのか。最晩年に到達した至高の舞いと、秘められた「まことの花」の謎と真実に迫る物語。

2021:6./ 353p 978-4-309-02968-9 ¥2,200〔稅込〕



読売新聞 2023/03/12



ネットリンチで人生を破壊された人たち(光文社未来ライブラリー M ロ-1-1)

ジョン・ロンソン 著

光文社

自らの行動やコメントがネットで大炎上し、社会的地位や職を失った人たちを徹底取材。その悲惨さを炙り出す。加害者・被害者双方の心理を深掘りし、炎上のメカニズムや、グーグルの検索結果から個人情報を消す方法も探る。

2023:1./ 548p 978-4-334-77065-5 ¥1,518〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



三流シェフ

三國 清三 著

幻冬舎

雑用こそ人生の突破口。誰より苦労しても、その苦労を見ている人は **1%**にも満たない。それでも"世界のミクニ"は必死に鍋を磨き続けた-。料理界のカリスマ・三國シェフが半生を振り返る。

2022:12./ 262p 978-4-344-04064-9 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



よむうつわ~茶の湯の名品から手ほどく日本の文化~<上>

ロバートキャンベル 著

淡交社

作家自身が人間国宝であるもの、数百年前に天下人からその家臣の手へ渡ったもの、古物の収集に身を投じた者たちの愛した得がたい器…。美術館の茶の湯の名品を実見。確かな見識に基づく感慨を綴る。『淡交』連載を基に書籍化。

読売新聞 2023/03/12

2022:10./ 319p 978-4-473-04513-3 ¥4,180〔税込〕





よむうつわ~茶の湯の名品から手ほどく日本の文化~<下>

ロバート キャンベル 著

淡交社

洒落心溢れる京焼の優品、もとは茶碗ではなかった松平不昧愛蔵の大名物、侘びの美観により見出された渡来品…。美術館の茶の湯の名品を実見。確かな見識に基づく感慨を綴る。『淡交』連載を基に書籍化。

2022:12./ 319p 978-4-473-04514-0 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



DEEP PURPOSE〜傑出する企業、その心と魂〜

ランジェイ・グラティ 著

東洋館出版社

ペプシコ、リクルート、マイクロソフト、レゴ…。業績を挙げ続ける企業は何が違うのか。真のパーパスの追求に必要なものは何か。ディープ・パーパスについての心構えを詳述する。アクションも収録。

2023:2./ 337p 978-4-491-05152-9 ¥2,310〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



13 歳からのサイエンス〜理系の時代に必要な力をどうつけるか〜(ポプラ新書 233)

緑 慎也著

ポプラ社

落ち葉に裏向きが多い理由、おがくずで断熱材を開発…。各種の科学コンテストで賞を獲得した、若者たちのオリジナリティ溢れる研究を紹介。ノーベル物理学賞受賞・ 梶田隆章に科学教育のあり方を尋ねたインタビューなども収録。 2023:1./ 245p 978-4-591-17602-3 ¥979〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



跳ね返りとトラウマ~そばにいるあなたも無傷ではない~

カミーユ エマニュエル 著

柏書房

シャルリ・エブド襲撃事件の生き残りとなった風刺画家。その妻であるジャーナリストが、夫のとなりを歩んだ5年間の記録。関係者や専門家へのインタビューをおこない、自分に起きたことにどんな意味があるのかを明らかにする。

2022:12./ 358p 978-4-7601-5494-4 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



京都不案内

森 まゆみ 著

世界思想社

市民運動のやり過ぎから免疫低下でがんになった。治療の後、体にいいことをするため京都へときどき転地。京都を暮らすように旅したエッセイ。インタビューも収録。 WEBマガジン『せかいしそう』連載に加筆・修正。

読売新聞 2023/03/12

2022:12./ 246p 978-4-7907-1774-4

¥1,760〔税込〕





作家たちの手紙〜ユゴー、ディケンズ、チェーホフ、カフカ、ミストラル、 ソンタグ…94 人の胸中〜

マイケル・バード/オーランド・バード 著 マール社

「大鴉」の修正を編集者に指示するポー、愛する人への手紙に詩を添えるゲーテ…。 この 500 年の間に交わされた、作家や詩人の手紙をまとめた書簡集。時代背景や作 家・詩人についての解説も収録。 2022:11./ 223p 978-4-8373-0690-0 ¥3,300〔稅込〕



読売新聞 2023/03/12



球跡巡り〜球史を刻んだ球場跡地を歩く〜

山本 勉 著

理工図書

かつてのプロ野球本拠地球場から数試合しか開催されなかった地方球場まで、時代とともに消えた 55 の球場の痕跡を辿る。プロ野球公式戦開催全球場一覧などのデータ、貴重な写真も多数掲載。日本野球機構 HP 掲載を加筆、修正。

2023:1./ 9p,280p 978-4-8446-0922-3 ¥1,980〔稅込〕



読売新聞 2023/03/12



赤の自伝

アン・カーソン 著

書肆侃侃房

古代ギリシアの詩人ステシコロスが描いた怪物ゲリュオンと英雄ヘラクレスの神話が、ロマンスとなって現代に甦る。詩と小説のハイブリッド形式(ヴァース・ノベル)で再創造された、アン・カーソンの代表作を邦訳。

2022:9./ 253p 978-4-86385-539-7 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2023/03/12



プーチン~ロシアを乗っ取った KGB たち~<上>

キャサリン・ベルトン 著

日経BP社

プーチン勢力がいかにロシアを変質させ、世界を混乱させてきたのかを明らかにする ドキュメント。上は、プーチンと組織犯罪集団の関係から、大統領就任の舞台裏、チェチェン紛争の真相まで、権力奪取の全プロセスを克明に描く。 2022:12./ 13p,386p 978-4-296-11521-1 ¥2,090〔稅込〕



読売新聞 2023/03/12、日本経済新聞 2023/03/18



プーチン~ロシアを乗っ取った KGB たち~<下>

キャサリン・ベルトン 著

日経BP社

プーチン勢力がいかにロシアを変質させ、世界を混乱させてきたのかを明らかにするドキュメント。下は、マネーロンダリング、ロシアマネーを駆使したウクライナ介入、EU 分裂工作、トランプ籠絡などに肉薄する。

読売新聞 2023/03/12、日本経済新聞 2023/03/18

2022:12./ 10p,429p 978-4-296-11616-4

¥2,090〔税込〕





孤塁〜双葉郡消防士たちの 3・11〜(岩波現代文庫 社会 333)

吉田 千亜 著

岩波書店

原発が暴発・暴走するなか、地震・津波被災者の救助や避難誘導、原発構内での火災 対応にあたった福島県双葉消防本部の125名の消防士。その緊迫の日々を一人ひとり の声から描き出す。「「孤塁」その後」を加筆し文庫化。

2023:1./5p,261p 978-4-00-603333-0 ¥1,100〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19



「自傷的自己愛」の精神分析(角川新書 K-406)

斎藤 環著

KADOKAWA

「自分には生きている価値がない」「ブサイクだから異性にモテない」。引きこもり 専門医である精神科医が、言葉で自分を傷つける人たちの深層心理に迫り、思い込み を見つめ直し、健全な自己愛を取り戻す方法を探る。

2022:12./259p 978-4-04-082430-7 ¥1,012〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19



五体不満足

乙武 洋匡 著

講談社

「障害は不便です。だけど、不幸ではありません」「感動は求めません。参考にして ほしいのです|両手両足がなくたって、今日も電動車椅子で走り続ける著者の、「生 きる力」とは。

1998:10./270 p 978-4-06-209154-1 ¥1,760〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19



ゴリラ裁判の日

須藤 古都離 著

講談社

ローズはとても賢く、言葉を理解し人間と「会話」ができるゴリラだ。人間の子供を 助けるために、という理由で、夫ゴリラが射殺される。そしてローズは、人間に戦い を挑む。力ではなく、知恵と勇気を武器に。法廷で。

2023:3./ 329p 978-4-06-531009-0 ¥1,925〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19



アンダークラス(小学館文庫 あ 16-8)

相場 英雄 著

小学館

秋田県で老人施設入居者の死体が発見された。施設で働くベトナム人アインは、自殺 を幇助したとの自供を始める。警視庁継続捜査班の田川信一は、死体の「手」に疑い を抱いた。再捜査で浮かび上がったのは多国籍 IT 企業で...。

読売新聞 2023/03/19

2023:1./536p 978-4-09-407220-4

¥1,034〔稅込〕





アナーキー・イン・ザ・JP(新潮文庫 な-83-1)

中森 明夫 著

新潮社

17歳の少年の脳内に突如、100年前の革命家・大杉栄の魂が棲みついた。パンク少年+アナーキストは閉塞した21世紀ニッポンを疾走する。果たして2人の運命は?アイドル美少女との恋の行方は?痛快パンク青春小説。

2013:9./ 414p 978-4-10-125281-0 ¥693〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



山本由伸 常識を変える投球術(新潮新書 985)

中島 大輔 著

新潮社

肘は曲げない、筋トレはしない、スライダーは自ら封印-。いまや日本球界最高の投手に登り詰めた山本由伸。ブリッジややり投げを取り入れたトレーニングの理由や独特の思考法、目指す未来等、"規格外の投手"を徹底解説する。

2023:2./ 202p 978-4-10-610985-0



¥858〔稅込〕

読売新聞 2023/03/19



最悪の予感~パンデミックとの戦い~(ハヤカワ文庫 NF 598)

マイケル・ルイス 著

早川書房

新型コロナによる死者が 100 万人を超えた米国。ウイルス発生初期、後の危機を予感した人々がいた。彼らの苦闘はなぜ挫かれたのか。綿密な取材と巧みな構成で失敗の本質を描く。

2023:1./ 480p 978-4-15-050598-1 ¥1,188〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



蝙蝠か燕か

西村 賢太 著

文藝春秋

2021 年 1 月 29 日、北町貫多は芝公園の一隅に佇んでいた-。私小説作家として師・藤澤清造に殉じた北町貫多の生涯を描く。真骨頂たる苛烈な"歿後弟子道"を主題に据えた 3 篇を収録。『文學界』掲載を書籍化。

2023:2./ 158p 978-4-16-391657-6 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



日本のリーダー達へ(私の履歴書)

葛西敬之 著

日経BP社

国鉄の分割民営化や東海新幹線の再生を成し遂げ、安全保障・外交分野でも活躍した 葛西敬之。日本の将来を考え続けた経営者が、その生涯を振り返る。櫻井よしこらの 追悼文も収録。『日本経済新聞』連載に加筆修正し書籍化。

読売新聞 2023/03/19

2023:2./ 255p 978-4-296-11724-6 ¥2,200〔税込〕





セックスする権利

アミア・スリニヴァサン 著

勁草書房

個人的で親密で、このうえなく政治的なセックスが、本当に自由になるには、なにが必要か-。女性の欲望のありかたを、世界の「セックスの政治と倫理」を、フェミニストたちの豊かな思想的蓄積から照射するエッセイ集。

2023:2./ 14p,276p,43p 978-4-326-65439-0

¥2,970〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19



青い秋

中森 明夫 著 光文社

アイドル、ライター、カメラマン…。誰もが元気一杯で遊んでいた、あの頃の東京。かつて<おたく>を命名した中森明夫が、昭和・平成の青春時代を描いた私小説。『小説すばる』『本がすき。』掲載に書下ろしを加え単行本化。

2019:10./ 323p 978-4-334-91315-1 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



ハワイの穏やかで心通わせる暮らし 365 日~常夏の島に息づく小さな季節のたより~

石川 結雨子 著

自由国民社

香る花々、クリスピーな星空、追いかけたくなる虹…そして人々の心に宿る"ALOHA" スピリット…。365 日のハワイ島の普段の顔を、1 日 1 頁で写真とともに紹介。日々を丁寧に暮らしたい人へのヒントが盛りだくさん。

2022:12./ 367p 978-4-426-12850-0 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



小さなまちの奇跡の図書館(ちくまプリマー新書 419)

猪谷 千香 著

筑摩書房

鹿児島県指宿市のさびれつつあった図書館を日本で最も注目を集める施設にしたのは、いちユーザーに過ぎなかった地元女性たちだった。人々をつなぐ奇跡の図書館ができるまでの物語を紹介する。

2023:1./ 190p 978-4-480-68444-8





読売新聞 2023/03/19



絵画とタイトル~その近くて遠い関係~

ルース・バーナード・イーゼル 著

みすず書房

初めてタイトルを自らつけたダヴィッド、クールベ「画家のアトリエ」の長い副題にこめられた意味…。ルネサンスから現代まで、つねにせめぎあってきた絵画とタイトルのスリリングな関係を追う。

9 7 8 4 6

読売新聞 2023/03/19

2022:12./ 3p,272p,67p 図版 16p 978-4-622-09556-9 ¥8,250〔税込〕



近代日本の徴兵制と社会

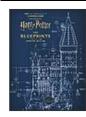
一ノ瀬 俊也 著

吉川弘文館

「普通の人々」が国家のために殺し殺される徴兵制は、どう受け入れられたのか。徴 兵制維持のサブ・システム=「軍隊教育」と「軍事救護」を分析。戦争自体をも正当 化する論理がいかに語られていったのかを解き明かす。 2004:5./ 342,7p 978-4-642-03764-8 ¥8,800〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



映画『ハリー・ポッター』シリーズ公式美術設定&図面集

ジョディ・レベンソン 著

玄光社

映画「ハリー・ポッター」シリーズ全8作品に登場する美術設定・寸法入り図面を収録。ボグワーツ魔法魔術学校から、ハグリッドの小屋、ホグワーツ特急、ハニーデュークスまで、作品を彩る幻想的な世界を詳細に解き明かす。

2022:12./ 287p 978-4-7683-1680-1 ¥8,800〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19



シンクロニシティ〜科学と非科学の間に〜

ポール・ハルパーン 著

あさ出版

量子世界の因果性をめぐる壮大な旅へ-。アリストテレスの物理学から量子もつれまで、何千年もの間、科学者たちが頭を悩ませてきた"シンクロニシティ(意味のある偶然)"を、数々の科学者・哲学者の逸話とともに振り返る。

2023:1./ 471p 978-4-86667-429-2 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2023/03/19



TRY48

中森 明夫 著

新潮社

アイドル志望の女子高生・百合子は、寺山修司がプロデュースするグループ 「TRY48」に応募することに-。寺山と少女たちが令和の世を変革する、最高にスキャンダラスで知的興奮に満ちた長編小説。『新潮』掲載に加筆修正。 2023:1./ 333p 978-4-10-304633-2 ¥2,200〔稅込〕



読売新聞 2023/03/19、朝日新聞 2023/03/25



「軍都」を生きる~霞ケ浦の生活史 1919-1968~

清水 亮 著

岩波書店

海軍飛行場が建設された霞ケ浦のほとりの村。戦争や開発、祝祭に揉まれ、戦後も自 衛隊駐屯地を抱えた地域住民の生活体験を、資料やインタビューをもとに描き出す。 写真も豊富に掲載。 9 7 8 4 0 0 0 2 2 6 4 7 9

読売新聞 2023/03/26

2023:2./ 14p,237p,3p 978-4-00-022647-9

¥2,860〔税込〕



女ひとり、イスラム旅(朝日文庫 つ18-1)

常見 藤代 著

朝日新聞出版

出会ってすぐに家へ招かれ、外食すれば知らぬ間に誰かが代わりにお勘定、町を案内してくれたちょいワル青年はお年寄りに親切…。「怖い」「危険」とイメージされがちなイスラム圏の意外な姿を紹介する。

2015:1./ 279p 978-4-02-261817-7

¥770〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26

ゴキブリの歌 改版(角川文庫)

五木 寛之 著 角川書店

読売新聞 2023/03/26

1994:12./ 363p 978-4-04-129405-5

¥506〔税込〕



万延元年のフットボール(講談社文芸文庫)

大江 健三郎 著

講談社

友人の死に導かれ夜明けの穴にうずくまる僕。地獄を所有し、安保闘争で傷ついた鷹四。障害児を出産した菜採子。苦渋に満ちた登場人物たちが、四国の谷間の村をさして軽快に出発した。万延元年の村の一揆をなぞるように、神話の森に暴動が起る。

1988:4./ 491p 978-4-06-196014-5 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



槿(あさがお)(講談社文芸文庫)

古井 由吉 著

講談社

男の暴力性を誘発してしまう己の生理に怯える伊子(よしこ)。20 年も前の性の記憶と現実の狭間で揺蕩う(たゆたう)國子。分別ある中年男杉尾と二人の偶然の関係は、女達の紡ぎ出す妄想を磁場にして互いに絡み合い、恋ともつかず性愛ともつかず、「愛」の既成概念を果てしなく逸脱してゆく。

2003:5./ 541p 978-4-06-198333-5 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



普通という異常〜健常発達という病〜(講談社現代新書 2692)

兼本 浩祐 著

講談社

「いじわるコミュニケーション」という承認欲求、対人希求性の過多、親の「いいね」という魔法…。健常発達を病に診たてて検討し、極端な「普通」がもたらす「しんどさ」から抜け出すためのヒントを提示する。

978-4-06-530538-6 ¥1,100〔税込〕

2023:1./ 252p



読売新聞 2023/03/26



犬も食わない(新潮文庫 お-112-1)

尾崎 世界観/千早 茜 著

新潮社

どんなに一緒にいても、こんなにも分かり合えないのはなぜだろう。「だめな男」と 「めんどくさい女」。同棲中の恋人同士の本音を、男女それぞれの視点で描く、共作 恋愛小説。

2023:1./ 278p 978-4-10-104451-4 ¥693〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



個人的な体験 改版(新潮文庫 お-9-10)

大江 健三郎 著

新潮社

わが子が頭部に異常をそなえて生れてきたと知らされて、鳥(バード)は深甚な恐怖感 に囚われ、嬰児の死を願って火見子と性の逸楽に耽けるが...。暗澹たる地獄廻りの果 てに自らの運命を引き受けるに至った青年の魂の遍歴を描く。

2013:2./ 322p 978-4-10-112610-4 ¥693〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



文学の淵を渡る(新潮文庫 お-9-24)

大江 健三郎/古井 由吉 著

新潮社

?外から中上健次まで百年にわたる日本の短篇、ギリシア悲劇、ムージルら世界の近 現代文学…。半世紀を超えて、小説の最前線を走り続けてきた大江健三郎と古井由吉 が語る、文学の過去・現在・未来。スリリングな対談集。

2018:1./ 275p 978-4-10-112624-1 ¥649〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



土を喰う日々~わが精進十二ヵ月~(新潮文庫)

水上 勉 著 新潮社

読売新聞 2023/03/26

1982:8./ 235p 978-4-10-114115-2 ¥605〔稅込〕





杏子・妻隠 改版(新潮文庫)

古井 由吉 著 新潮社

読売新聞 2023/03/26

2004:3./ 264p 978-4-10-118501-9

¥605〔稅込〕





深夜特急<1> 新版 香港・マカオ(新潮文庫 さ-7-51)

沢木 耕太郎 著

新潮社

インドのデリーからイギリスのロンドンまで、乗合いバスで行ってみたい。26歳の< 私>は、仕事を投げ出して旅に出た-。1は、旅の発端と、香港、マカオ、山口文憲と の対談、「あの旅をめぐるエッセイ 1」を収録。

¥605〔稅込〕

978-4-10-123528-8

2020:7./ 270p



読売新聞 2023/03/26



最長片道切符の旅 改版(新潮文庫)

宮脇 俊三 著 新潮社 読売新聞 2023/03/26 2008:9./ 434p 978-4-10-126802-6

¥781〔税込〕





文人悪食(新潮文庫)

嵐山 光三郎 著 新潮社

「何か喰いたい」臨終の漱石は訴え、葡萄酒一匙を口に、亡くなった。鴎外はご飯に 饅頭を乗せ、煎茶をかけて食べるのが好きだった。鏡花は病的な潔癖症で大根おろし も煮て食べたし、谷崎は鰻や天ぷらなど、こってりした食事を愉しんだ。そして、中 也は酒を食らって狂暴になり、誰彼構わず絡んでいた。 2000:9./ 562 p 978-4-10-141905-3 ¥935〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



おやじはニーチェ~認知症の父と過ごした 436 日~

高橋 秀実 著

新潮社

失敗を忘れるから夢や希望も抱けるし、忘れるから現在を感じられる-。哲学者の言葉の数々に救われながら、認知症の父と向き合った介護の記録。『小説新潮』連載を加筆修正。

2023:1./ 286p 978-4-10-473807-6 ¥1,815〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



カラスは言った

渡辺優 著

中央公論新社

「横山さん、第一森林線が突破されました。至急連絡をください」"横山"でもなく、戦う理由もない僕の前に現れた一羽のカラス。わけもわからず向かった先には、刺激的で危険で、ちょっと楽しい世界が広がっていた。

2022:11./ 243p 978-4-12-005596-6 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



伝説の校長講話~渋幕・渋渋は何を大切にしているのか~

田村哲夫/古沢由紀子 著中央公論新社

「共学トップ」現役学園長・田村哲夫が半世紀続けてきた魂の授業とは-。中 1?高 3 に向けて行った全 30 回分の講話のほか、田村哲夫の幼少期から現在に至るまでの歩みを紹介する。『読売新聞』連載に大幅加筆。

読売新聞 2023/03/26

2023:1./ 277p 978-4-12-005622-2 ¥1,760〔税込〕





随筆草木志(中公文庫 ま 54-1)

牧野富太郎 著中央公論新社

私は植物の愛人である-。日本における植物分類学の祖・牧野富太郎の最初のエッセイ集。牧野ならではの、軽妙洒脱な文体、気取らない表現、語り口で、植物の魅力を縦横に綴る。塚谷裕一による解説も収録。

2023:2./ 323p 978-4-12-207328-9

¥880〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



あなたの職場に世界の経営学を〜最新理論で「仕事の悩み」突破〜

宍戸 拓人 著

日経BP社

今の課題には、今の経営学を!世界の超一流大学発最新・最高の経営技法を紹介。経済学の最前線の知見を、企業が抱えるさまざまな課題の解決に生かすにはどうすべきかを解説する。『日経ビジネス電子版』連載を単行本化。

2022:12./ 223p 978-4-296-20129-7 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



鬼と日本人の歴史(ちくまプリマー新書 422)

小山 聡子著

筑摩書房

絵本などで親しまれながら恐怖の対象でもある「鬼」。古代では畏怖の対象だったが、時が経つにつれ、都合の悪いものをたとえたような存在となった。鬼とは何なのか、史料に基づいて鬼の系譜をたどる。

2023:3./ 203p 978-4-480-68447-9 ¥902〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



メナハウス・ホテルの殺人(創元推理文庫 M / 5-1)

エリカ・ルース・ノイバウアー 著

東京創元社

叔母の付き添いでカイロのメナハウス・ホテルに滞在していたジェーン。だが客室で若い女性客が殺され、第一発見者のジェーンは地元警察から疑われてしまう。真犯人を見つけようと奔走するが、さらに死体が増えて…。

2023:2./ 406p 978-4-488-28607-1

¥1,254〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



世界インフレと日本経済の未来〜超円安時代を生き抜く経済学講義〜(PHP ビジネス新書 455)

伊藤 元重 著

PHP研究所

「安い日本」で経済活性化する秘策、日本人の賃金を上げるために必要なこと、グリーン投資の重要性…。加速・複雑化する現代経済の要点を整理し、平易に解説する。 『日経 MJ』『静岡新聞』連載に加筆・修正。

読売新聞 2023/03/26

2023:3./ 220p 978-4-569-85411-3 ¥1,012〔税込〕





そうざい料理帖<巻 1>(平凡社ライブラリー 720)

池波 正太郎 著

平凡社

食通作家・池波正太郎の食日記や食エッセイから厳選したメニューをイラストで再現、作り方の手ほどきをする実用書。

2011:1./ 192p 978-4-582-76720-9

¥858〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



「狂い」の調教~違和感を捨てない勇気が正気を保つ~(扶桑社新書 460)

春日武彦/平山夢明 著

扶桑社

コロナ、ウクライナ侵攻、安倍元首相暗殺…。世の中は狂ってしまったのか。それとも人類の平常運転なのか-。作家・平山夢明と精神科医・春日武彦が、分断する世の中をばっさり斬る。「「狂い」の構造」シリーズ第3弾。

2023:3./ 246p 978-4-594-09375-4 ¥968〔稅込〕



読売新聞 2023/03/26



時の余白に<続々>

芥川喜好 著

みすず書房

世相の片隅に息づいている美を手がかりに、廉直さを失った現代に鋭く警世を発し、本当の豊かさとは何かを深沈と問いかけた記者人生の集大成。『読売新聞』連載などを単行本化。

2023:1./ 255p 978-4-622-09557-6 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



コモンズのガバナンス~人びとの協働と制度の進化~

エリノア・オストロム 著

晃洋書房

政府でもなく、市場でもない、コモンズの可能性-。人びとが共有する資源(コモンズ)の安定的な管理には、政府の介入か私有化しかないという定説に異を唱え、人びとによる自治が着目されるさきがけとなった不朽の名著。

2022:12./ 16p,305p 978-4-7710-3708-3 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



アメリカ東海岸埋もれた歴史を歩く

樋口 映美 編

デイヴィッド・S・セセルスキ 著

彩流社

アメリカ合衆国の片隅から歴史を掘り起こす著者の眼が、いかに過去を捉え、叙述するか-。ブログフォトエッセイで紡ぎ出された人びとの姿、その歴史叙述の模索の数々を書籍として問う。過去に生きた人びとと読み手を?ぐ試み。

読売新聞 2023/03/26

2023:1./ 215p 978-4-7791-2879-0 ¥2,420〔税込〕





SF 作家の地球旅行記

柞刈 湯葉 著

産業編集センター

首里城、筑波山、ウラジオストク、モンゴルの草原…。行ったことのない場所に、特に理由もなく行きたくなる SF 作家の目を通して楽しむ新感覚旅行記。note 掲載に書き下ろしを加え書籍化。

2022:9./ 263p 978-4-86311-341-1 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/03/26



氷壁 改版(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

奥穂高に挑んだ小坂乙彦は、切れるはずのないザイルが切れて墜死した - 恋愛と男同士の友情がドラマチックにくり広げられる長編。

2002:6./ 633p 978-4-10-106310-2 ¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



戦艦武蔵 改版(新潮文庫)

吉村 昭 著

新潮社

本書は戦争の神話的象徴である「武蔵」の極秘の建造から壮絶な終焉までを克明に綴り、壮大な劇の全貌を明らかにした記録文学の大作である。

2009:11./ 316p 978-4-10-111701-0 ¥649〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



数学する身体(新潮文庫 も-42-1)

森田 真生 著

新潮社

思考の道具として身体から生まれた数学。身体を離れ、高度な抽象化の果てにある可能性とは?数学を通して「人間」に迫る、若き異能の躍動するデビュー作。

2018:5./ 227p 978-4-10-121366-8 ¥605〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



「幕府」とは何か~武家政権の正当性~(NHK ブックス 1277)

東島 誠 著

NHK出版

武家政権はどのように支配の正当性を確保しようとしたか。「京都を食糧で満たす」 ことが正当性の根拠となった古代から、「伝統としての権力」が強調される江戸時代 までを辿り、アップデートされてきた支配の正当性を問う。 2023:1./ 366p 978-4-14-091277-5 ¥1,980〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/04



女たちの沈黙

パット・バーカー 著

早川書房

トロイア戦争、最後の年。敗戦により敵軍に囚われ、戦利品として男たちの手に渡った女たちに与えられた選択肢は、服従か死か・。西洋文学の起源にある暴力へ遡り、抑圧された者たちの声を高らかに響き渡らせる歴史小説。

2023:1./ 457p 978-4-15-210198-3 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



巨大債務危機を理解する

レイ・ダリオ 著

日経BP社

世界恐慌、リーマン・ショック...。市場を揺るがす債務危機や金融危機はなぜ起こるのか?世界最大のヘッジファンドの創業者にして2008年の金融危機を予見した投資家レイ・ダリオが、巨大債務危機を勝ち抜く原則を明かす。

2022:12./ 503p 978-4-296-11366-8 ¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



「武漢日記」が消された日~中国から始まったある言論弾圧~

マイケル・ベリー 著

河出書房新社

コロナ禍、たったひとりの作家が綴った「日記」を、なぜ中国当局は「危険」とみなし、弾圧したのか。「武漢日記」とその著者、さらには英語版訳者も標的とされたく方方事件>の知られざる実態を詳細に綴ったノンフィクション。

2023:1./ 303p,6p 978-4-309-20874-9

¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



「おふくろの味」幻想~誰が郷愁の味をつくったのか~(光文社新書 1240)

湯澤規子 著

光文社

誰もが一度は聞いたことがある「おふくろの味」とは何を指しているのか。なぜそれは時に女性たちをいらだたせるのか。社会と時代を丹念に読み解き、「おふくろの味」が誕生した経緯とその正体を探る。

2023:1./ 277p 978-4-334-04647-7 ¥1,034〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



たらしの城

佐々木功 著

光文社

織田信長の美濃攻めが始まる。墨俣に一夜にして城をつくり、敵はおろか信長の度肝を抜いた藤吉郎の奇想天外な策略の数々とは? 史上まれにみる出世街道を突き進んだ 戦国武将・豊臣秀吉の魅力あふれる物語。 2023:1./ 309p 978-4-334-91509-4 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



独学大全〜絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための 55 の技法〜

読書猿 著

ダイヤモンド社

独学の達人である著者による、勉強法の百科事典。何を、どう学べばいいか迷った時に役立つ、著者が独自に収集・開発した 55 の技法を厳選して紹介する。巻末に折込みの「独学困りごと索引」付き。

2020:9./ 752p,34p 978-4-478-10853-6 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



会社という迷宮〜経営者の眠れぬ夜のために〜

石井 光太郎 著 ダイヤモンド社

ベテランの経営戦略コンサルタントが、「会社」という迷宮の特異な観念や用語に潜む罠を丁寧に解きほぐし、クライアントから学んだ「会社」の人間的・社会的な重さと可能性、「経営」の地に足がついた奥行きの深さを伝える。

2022:6./ 277p 978-4-478-11616-6 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



神さまとぼく~山下俊彦伝~

梅沢 正邦 著

東洋経済新報社

バブルで狂乱状態にあった家電市場、創業家を交えた人事抗争、グローバル化の進展と経営危機…。知られざる名経営者・山下俊彦を通して、パナソニックの絶頂からどん底までを描く。

2020:3./ 489p 978-4-492-50315-7 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



両利きの経営~「二兎を追う」戦略が未来を切り拓く~ 増補改訂版

チャールズ・A・オライリー/マイケル・L・タッシュマン 著東洋経済新報社

「知の探索」と「知の深化」を行えている企業ほど、イノベーションが起き、パフォーマンスが高くなる。成熟した大企業・中堅企業に向けた最強戦略「両利きの経営」 理論を、豊富な事例をもとに解説する。 2022:7./ 518p,23p 978-4-492-53451-9 ¥3,080〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/04



アッテンボロー生命・地球・未来〜私の目撃証言と持続可能な世界へのヴィ ジョン〜

デイヴィッド・アッテンボロー 著

東洋経済新報社

世界の人口 23 億人→78 億人、原生的な自然の残存率 66%→35%。今すぐに「グリーン成長」と「再野生化」に取り組まねば、人類や地球に未来はない-。世界的な自然番組のプレゼンターによる渾身のメッセージ。

日本経済新聞 2023/03/04

2022:12./ 244p,36p 図 版 16p 978-4-492-80094-2 ¥2,420〔稅込〕





流通革命は終わらない(私の履歴書)

中内 功著

日本経済新聞出版社

創業者(ファウンダー)として、いかに「私の流通革命の理念」を、21 世紀を担う若者に伝え継ぐことができるか。財界風雲児が自ら綴った流通半世紀。日経新聞連載「私の履歴書」に資料集を加え単行本化。

2000:12./ 235p 978-4-532-16372-3 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



「春」はどこにいった~世界の「矛盾」を見渡す場所から 2017-2022~

酒井啓子 著 みすず書房

「アラブの春」から 10 年。国際社会からの関心が薄れるなか、中東は注目すべき変化の途上にある。第一線の研究者が、今知るべき中東情勢を歴史的厚みのある記述で伝えつつ、彼の地の瞠目すべき変化を見つめ続けた時評集。

2022:12./ 261p 978-4-622-09530-9 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



松下幸之助~きみならできる、必ずできる~(ミネルヴァ日本評伝選)

米倉 誠一郎 著 ミネルヴァ書房

松下電器産業(現パナソニック)を一代で築き、「経営の神様」と称される松下幸之助。その足跡を丹念に辿り、感情豊かで、強さと弱さの両面を抱えた人間像、そして 壮大なる成功を導いたイノベーターとしての姿を描く。 2018:9./ 11p,259p,5p 978-4-623-08426-5

¥2.640〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/04



調べる技術〜国会図書館秘伝のレファレンス・チップス〜

小林 昌樹 著

皓星社

原稿のチェックや論文執筆などの「調べもの」をする際に、キチンと答えを出すには どうすればよいか? 国会図書館で利用者の調べ物相談(レファレンス)に従事した著者 が、その実践的な技術を公開する。メルマガ連載を書籍化。 2022:12./ 183p 978-4-7744-0776-0 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



K-POP バックステージパス

古家正亨 著

イースト・プレス

韓流スター、K-POP アイドルの信頼を一身に集める男、古家正亨。日本の K-POP ブームを間近で見てきた人気 MC が、自身の半生を振り返り、「韓国」に出会い、韓国と日本の架け橋になるまでを綴る。

日本経済新聞 2023/03/04

2022:12./ 239p 978-4-7816-2145-6

¥1,650〔税込〕





映画を追え~フィルムコレクター歴訪の旅~

山根 貞男 著

草思社

1988 年、小津安二郎監督の「突貫小僧」が知人のコレクターによって発見されて以来、失われていたはずの名画が思わぬところから出てきた。マニアやコレクター、接収されてロシアにあるフィルム等を訪ね歩いた 30 年の記録。

2023:2./ 294p 978-4-7942-2614-3 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



絵本で読みとく SDGs

中川素子 著

水声社

絵本研究、文学研究、美術、デザインなど多角的な視点から、絵本を通しての SDGs を読みとき、子どもから大人までともに目標について考え、それを実行していくためのヒントを探る。SDGs と関連する絵本リストも掲載。

2023:1./ 225p 978-4-8010-0689-8 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



ビジョナリー・カンパニー<2> 飛躍の法則

ジェームズ・C.コリンズ 著

日経BP社

95年刊のベストセラー「ビジョナリーカンパニー」の著者による、徹底的なデータ分析に裏付けられた超優良企業の条件。「どうすればグッド・カンパニーはグレート・カンパニーになれるのか」という問いを追求する。

2001:12./ 420p 978-4-8222-4263-3 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/04



日本語の発音はどう変わってきたか~「てふてふ」から「ちょうちょう」 へ、音声史の旅~(中公新書 2740)

釘貫亨 著

中央公論新社

奈良時代には母音が8つあった?「行」を「コウ」と読んだり「ギョウ」と読んだり、なぜ漢字には複数の音読みがあるのか?日本語音声の歴史的な変遷を、奈良時代から江戸時代半ばまでの中央語を対象にして解説する。

2023:2./ 4p,242p 978-4-12-102740-5 ¥924〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/04、読売新聞 2023/03/19

笑い(岩波文庫 青 645-3)

ベルクソン 著

岩波書店

古来多くの哲学者が人間を「笑うことを心得ている動物」と定義した。フランスの哲学者ベルクソン(1859-1941)は、この人間特有の「笑う」という現象とそれを喚起する「おかしみ」の構造とを、古典喜劇に素材を求めて分析し、その社会的意味を解明する。

日本経済新聞 2023/03/11

1976:11./ 226p 978-4-00-336453-6

¥792〔税込〕





地元経済を創りなおす~分析・診断・対策~(岩波新書 新赤版 1704)

枝廣 淳子 著

岩波書店

人口減少、駅前のシャッター通り…。地元経済の悪循環を断ち切る方策はないのか。 現状をまずは「見える化」し、お金や雇用を外部に依存する割合を減らすための考え 方やツールを紹介。好循環を生んだ事例も掲載する。 2018:2./ 8p,209p 978-4-00-431704-3 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



西洋書物史への扉(岩波新書 新赤版 1963)

髙宮 利行 著

岩波書店

文字メディアは、どのように誕生したのか。印刷術の発明のどこが革命的だったのか。書物の読み方は、歴史の中でどう変化したのか-。西洋の書物の豊かな歴史を訪ね、これまでとこれからを見つめるエッセイ集。

2023:2./ 11p,196p,11p 978-4-00-431963-4

¥1,100〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/11



とんでやすんでかんがえて...

五味太郎 著

偕成社

ことりさんはちょっと飛んで、ちょっと休み、木の実を食べたら、またちょっと飛んで、すこしずつ進んでいきます。でも、突然大きな海が! ことりさんは…。自分のタイミングは自分で決めていいと、子どもたちを応援する絵本。

2023:1./ 32p 978-4-03-350280-9



日本経済新聞 2023/03/11



死刑のある国で生きる

宮下 洋一 著

新潮社

死刑廃止は、本当に唯一の答えなのか。アメリカ、フランス、スペイン、日本それぞれの実情を丹念に取材し、死刑囚や加害者家族、被害者遺族の声から死刑の意味に迫る。『小説新潮』『SlowNews』掲載を加筆修正。

2022:12./ 375p 978-4-10-354861-4 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



貴族とは何か~ノブレス・オブリージュの光と影~(新潮選書)

君塚 直隆 著

新潮社

貴族階級はいかに形成され、彼らがどのような社会的役割を担い、なぜ多くの国で衰退していったのか。古代ギリシャから現代イギリスまで、古今東西の貴族の歴史を丁寧に辿り、高貴なるものの責務を問い直す。

日本経済新聞 2023/03/11

2023:1./ 292p 978-4-10-603894-5

¥1,760〔税込〕



共産主義的人間(中公文庫)

林 達夫 著中央公論新社

日本経済新聞 2023/03/11

1989:9./ 189p 978-4-12-200058-2

¥502〔稅込〕





韓国コンテンツはなぜ世界を席巻するのか〜ドラマから映画、K-POP まで知られざる最強戦略〜

増淵敏之/岡田幸信 著

徳間書店

韓流ブームはいかにして世界頂点まで上り詰めたのか。韓国の国家戦略から、官民挙げての巧みなメディアミックス、聖地巡礼への誘導、ファン文化の形成まで、ブームを世界に拡散するビジネスモデルを分析する。

2023:2./ 303p 978-4-19-865553-2 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



ザ・ブランド・マーケティング~「なぜみんなあのブランドが好きなのか」 をロジカルする~

スコット・ベドベリ/スティーヴン・フェニケル 著 実業之日本社

スターバックス、ナイキ、ディズニー、アップル、コカ・コーラ、ラルフローレン。 名だたるグローバルカンパニーがいかにブランドとなり得たかを、その成長を内側から見ていた著者が、わかりやすい方法論とともに明かす。 978-4-408-65037-1 ¥1,980〔税込〕

2022:12./ 431p



日本経済新聞 2023/03/11



子どもの文化人類学(ちくま学芸文庫 ハ 58-1)

原 ひろ子 著

筑摩書房

環境や習慣が異なる社会における親子、子どものありかたをいきいきと描き出した文化人類学的エッセイ。どのような社会に生まれても子どもは幅広い可能性を内包しながら成長していくことをフィールドワーク経験をもとにつづる。

2023:1./ 261p 978-4-480-51163-8 ¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



ワグネル プーチンの秘密軍隊

マラート・ガビドゥリン 著

東京堂出版

クレムリンの意を受け、世界各地で軍事工作を行っているとされているロシアの民間 軍事会社ワグネル。その契約戦闘員として、ウクライナやシリアなどで実戦を潜り抜 けてきた元指揮官が綴った手記。

日本経済新聞 2023/03/11

2023:1./ 309p 978-4-490-21078-1 ¥3,520〔税込〕





遠きにありて、ウルは遅れるだろう(エクス・リブリス)

ペ・スア 著

白水社

存在を規定する記憶をすべて失った女性が、意識の底にある感覚を浮上させ自分が何者であるのかを夢幻的に探っていく3つの物語を描く。人間の本質を体感する、世界と自己認識の新しい文学。

2023:1./ 211p 978-4-560-09079-4 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11

思想のドラマトゥルギー(平凡社ライブラリー)

林 達夫、久野 収 著

平凡社

ヨーロッパ精神史研究の大先達、つねにアクチュアルな思想家=批評家=レトリシアン……よき対話者を得て自在に語り出された〈林達夫的精神〉の形成・遍歴・方法。

1993:6./ 552p 978-4-582-76002-6 ¥1,580〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



山のリスクとどう向き合うか〜山岳遭難の「今」と対処の仕方〜(平凡社新書 1020)

羽根田 治著

平凡社

登山が多様化・レジャー化するなかで、山岳遭難にどう対処すべきか。道迷い、疲労 や体調不良、装備・技量不足といった近年に特徴的な遭難事例や進む対策を紹介しな がら、安易な山登りに警鐘を鳴らす。「山の遭難」の続編。 2023:1./ 246p 978-4-582-86020-7 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



帝国の虜囚~日本軍捕虜収容所の現実~

サラ・コブナー 著

みすず書房

アジア・太平洋戦争中、日本軍の捕虜となった数十万の連合軍兵士と一般市民は、いかなる状況に直面したのか。日本をはじめ各国での文献調査と生存者への聞き取りをもとに、日本軍捕虜収容所の実態に迫る。

2022:12./ 343p,58p 978-4-622-09527-9

¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



おもしろい地域には、おもしろいデザイナーがいる~地域×デザインの実践

^

新山 直広/坂本 大祐/中西 拓郎/小板橋 基希/吉田 勝信/吉野 敏充/佐藤 哲也/迫 一成/羽田 純/長谷川 和俊/土屋 誠/今尾 真也/稲波 伸行/堀内 康広/小林 新也/森脇 碌/安田 陽子/タケムラナオヤ/古庄 悠泰/佐藤 かつあき/福田 まや 著

学芸出版社

地域とデザイナー、デザイナーとデザイナーの新たな協働を目指して。日本各地で活躍する地域のデザイナーたちが、デザイナーになったきっかけや、地域と関わるようになった理由、仕事への姿勢、生活の実際などを綴る。

日本経済新聞 2023/03/11

2022:3./ 190p 978-4-7615-2810-2 ¥2,640〔税込〕



表現史 明宏 戦後日本 山木

残されたものたちの戦後日本表現史

山本昭宏 著

青土社

戦争で生き残った表現者たちは個別の方法でそれぞれの経験の物語を作り上げてきた。水木しげる、中沢啓治、高畑勲から、こうの史代まで。これから先もずっと読まれ、観られ続けるべき作家・作品たちを精緻に読み解く。

2023:2./ 289p 978-4-7917-7538-5 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



関係人口をつくる~定住でも交流でもないローカルイノベーション~

田中輝美 著

木楽舎

関係人口とは、住んでいなくても、地域に多様に関わる人々=仲間のこと。島根県が東京で始めた講座「しまコトアカデミー」を取り上げ、その概要や、キーパーソンたちの物語、関係人口のつくり方を紹介します。

2017:10./ 255p 978-4-86324-118-3 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



10 代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」

森山 至貴 著 WAVE出版

「男は度胸、女は愛嬌でしょ」「女性のわりには話が通じるね」など、押し付けや軽視がひそむ言葉に傷つけられないために-。差別を考える社会学者が、女性が浴びせられがちな「ずるい言葉」から逃れる手がかりを伝授する。

日本経済新聞 2023/03/11

2023:1./ 195p 978-4-86621-443-6 ¥1,650〔税込〕





関係人口の社会学~人口減少時代の地域再生~

田中輝美 著

大阪大学出版会

住む人が減ったら、地域は再生できないのか?関係人口を社会学の見地から定義し、その役割を論じた書。事例と新たな理論の枠組みによって関係人口を位置づけ直し、人口減少時代の地域再生の方向性を示す。

2021:4./ 385p 978-4-87259-729-5 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



公民館のしあさって

公民館のしあさって出版委員会 著 ボーダーインク 日本経済新聞 2023/03/11 2021:10./ 207p 978-4-89982-410-7 ¥2,420〔税込〕





小商い建築、まちを動かす!~建築・不動産・運営の視点で探る 12 事例~

西田 司/神永 侑子/永井 雅子/根岸 龍介/若林 拓哉/藤沢 百合 著ュウブックス

新しい職住一体のライフスタイルを体現する住まいのひとつ「小商い建築」。小?中 規模の集合住宅に小商いスペースが付いた建築や、事業としてどのようになりたって いるのかを事例を通して紹介する。 2022:4./ 159p 978-4-908837-12-8 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11



人間性の進化的起源~なぜヒトだけが複雑な文化を創造できたのか~

ケヴィン・レイランド 著

勁草書房

文化、テクノロジー、科学、芸術を司る能力は、どのように生まれたのか。人間という動物のもつ知性や心的性質といった「人間らしさ」の進化的起源を、文化進化を軸にひもとく。

2023:1./ 11p,404p 978-4-326-10315-7 ¥4,620〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/11、朝日新聞 2023/03/18



ドキュメント通貨失政〜戦後最悪のインフレはなぜ起きたか〜

西野 智彦 著

岩波書店

ニクソン・ショックを端緒に、狂乱物価、円の暴落、貿易赤字の「三重苦」に見舞われた日本経済。時の為政者や大蔵省、日銀のエリートは、なぜ事態を防げなかったのか。近代経済史に残る一大事件の舞台裏を精緻に検証する。

2022:12./ 13p,296p 978-4-00-023903-5 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18

日本思想大系<12> 道元(上)

家永 三郎 著 岩波書店

日本経済新聞 2023/03/18

1970:5./ 589p 978-4-00-070012-2 ¥4,699〔税込〕



日本思想大系<13> 道元(下)

家永 三郎 著

岩波書店

日本経済新聞 2023/03/18

1972:2./ 632p 978-4-00-070013-9

¥5,060〔稅込〕



ライオンと魔女(岩波少年文庫)

C.S.ルイス 著

岩波書店

地方の古い屋敷にやってきた 4 人きょうだいが、ある日大きな衣装だんすを通って、雪のふりつもる別世界へ行きます。このナルニア国で、子どもたちは悪い魔女の軍と戦います。

1985:10./ 266p 978-4-00-112101-8

¥704〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



平家物語<1>(岩波文庫 黄 113-1)

岩波書店

合戦記に人物譚、和漢の故事を織りまぜた、平家の全盛から滅亡までの物語は、鎌倉時代から現代にいたるまで、多くの人々に親しまれてきた。第1冊には巻1から巻3までを収録。平家全盛の時代。新日本古典文学大系本の文庫化。

1999:7./ 398p 978-4-00-301131-7

¥1,111〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18



いちにち、古典~<とき>をめぐる日本文学誌~(岩波新書 新赤版 1958)

田中 貴子 著

岩波書店

暁の別れを描いた「源氏物語」。白昼堂々と跋扈する不気味な強盗。夕暮れに感じる 人の命のはかなさ。月や夜景を愛でるこころ-。古典文学のなかの「とき」に眼を凝 らし、そこに息づく人々の生と感性を活写する。 2023:1./ 13p,249p 978-4-00-431958-0 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



時間の比較社会学(岩波現代文庫)

真木 悠介 著

岩波書店

文化と社会の形態によって異なる時間の感覚と観念を比較検討し、近代的自我に特有の時間意識がどのように形成されたかを、自然と人間、共同体と都市、市場と貨幣等々の関係のなかで解明する。

2003:8./ 331p 978-4-00-600108-7 ¥1,606〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



データ思考入門(講談社現代新書 2694)

荻原 和樹 著

講談社

数字や統計に強くなる! 現代人にとって、「データの見方、考え方」を身につけることは必須。データを正しく読み取り、データを使いこなし、効果的に情報を伝えるための「データ可視化のための考え方」をエキスパートが解説。

2023:2./ 234p 978-4-06-530994-0

¥990〔稅込〕



2023:1./770p

978-4-08-157101-7

¥4,400〔稅込〕

日本経済新聞 2023/03/18



アジア人物史<1> 神話世界と古代帝国

青山 亨/伊東 利勝/小松 久男/重松 伸司/妹尾 達彦/成田 龍一/古井 龍介/ 三浦 徹/村田 雄二郎/李成市 編

集英社

古代から 21 世紀へと駆け巡った人物たちの評伝を積み重ねて描く本格的アジア通史。1 は、6 世紀までの歴史人物たちを、テーマごとに、主人公、副主人公、彼らに関連するその他の人物に分けて解説する。各地域の神話も掲載。

7通

日本経済新聞 2023/03/18



貧困の克服~アジア発展の鍵は何か~(集英社新書)

アマルティア・セン 著 集英社

日本経済新聞 2023/03/18

2002:1./ 189p 978-4-08-720127-7 ¥858〔税込〕





1Q84~a novel~<BOOK1 前編> 4月-6月(新潮文庫 む 5-27)

村上 春樹 著

新潮社

好もうが好むまいが、私は今この「1Q84年」に身を置いている。私の知っていた 1984年はもうどこにも存在しない…。ヤナーチェックの「シンフォニエッタ」に導かれ、青豆と天吾の不思議な物語がはじまる。

2012:4./ 357p 978-4-10-100159-3 ¥737〔税込〕

2014:7./ 194p

978-4-10-771757-3

¥726〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18

プリニウス<1>(BUNCH COMICS 45 PREMIUM)

ヤマザキ マリ、とり みき 著

新潮社

この男、世界を変えた博物学者にして、愛すべき変人 - 。『テルマエ・ロマエ』のヤマザキマリが再び古代ローマに挑む。歴史伝奇ロマンの決定版、誕生!

7エ・ロマエ』のヤ 9 7 8 4 1 0 7 7

日本経済新聞 2023/03/18



近代絵画史〜カラー版〜<上> 増補版 ロマン主義、印象派、ゴッホ(中公新書 385)

2017:9./ 2p,212p 978-4-12-190385-3 ¥924〔税込〕



高階 秀爾 著中央公論新社

19世紀前半から第二次世界大戦にいたるおよそ 150 年間の西洋絵画を概観した名著のカラー版。上は、近代絵画の先駆者ゴヤから、ボナールに代表されるナビ派までを描く。

日本経済新聞 2023/03/18



近代絵画史〜カラー版〜<下> 増補版 世紀末絵画、ピカソ、シュルレアリスム(中公新書 386)

2017:9./ 242p 978-4-12-190386-0



高階 秀爾 著中央公論新社

19世紀前半から第二次世界大戦にいたるおよそ 150 年間の西洋絵画を概観した名著のカラー版。下は、世紀末絵画から抽象絵画までを描く。

日本経済新聞 2023/03/18



システム・エラー社会~「最適化|至上主義の罠~

ロブ・ライヒ/メラン・サハミ/ジェレミー・M・Dインスタイン 著NHK出版

過度の技術偏重を問題視し、次世代人材の倫理教育に取り組むスタンフォード大学。 そのプログラムを主導する教授らが、自由・平等が尊重される民主主義的な社会を守 るための方策を示す。 2022:12./ 429p 978-4-14-081927-2 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



うけいれるには

クララ・デュポン=モノ 著

早川書房

フランスの幸せな家庭に待望の第三子が生まれた。彼が重度の障がいを抱えていることがわかると、長女は弟の存在に徹底的に反抗する。だが、介護に疲れ果てた家族を救うために立ち上がったのは長女だった-。

2023:3./ 190p 978-4-15-210218-8 ¥1,980〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18



「普通」ってなんなのかな〜自閉症の僕が案内するこの世界の歩き方〜

ジョリー・フレミング/リリック・ウィニック 著

文藝春秋

自閉症を抱えながらオックスフォード大大学院を出た青年の「処世術」とは。「普通」の人たちが「普通」「人間らしい」と思い込んでいる世界で、自閉症の頭脳をもつ人がどのように思考し、生きているのかを綴る。

日本経済新聞 2023/03/18

2023:1./ 292p 978-4-16-391653-8 ¥2,750〔税込〕





金子みすゞと詩の王国(文春文庫 ま 44-1)

松本 侑子 著

文藝春秋

詩人・金子みすゞの希望と挫折の生涯、大正デモクラシーの理想から生まれた童謡詩の盛衰をたどりながら、珠玉の名詩 60 編を文学の視点から読解する新しいみすゞ 論。NHK「100 分 de 名著」テキストに加筆。 2023:3./ 348p 978-4-16-792017-3 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



地霊を訪ねる~もうひとつの日本近代史~

猪木 武徳 著

筑摩書房

半田銀山、佐渡、秩父鉱山、石見銀山…。日本近代史の舞台"鉱山"を旅し、その土地に沁み込んだ、今は亡き人々が発する無音の声に耳を傾ける歴史エッセイ。日本を改めて知る悦びに満ちた傑作紀行。『ちくま』連載を書籍化。

2023:1./ 366p,7p 978-4-480-85820-7 ¥2,640〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18



フラット化する世界〜経済の大転換と人間の未来〜<上> 増補改訂版

トーマス・フリードマン 著

日本経済新聞出版社

世界をフラット化した 10 の要因とは?ピュリツァー賞を 3 度受賞したジャーナリストが、インド、中国、日本、欧米諸国の経営者や政治家らへの綿密な取材をもとに、今まさに全世界で起きている巨大な変化を鮮やかに活写する。

2008:1./ 441p 978-4-532-31377-7 ¥2.200〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18



フラット化する世界〜経済の大転換と人間の未来〜<下> 増補改訂版

トーマス・フリードマン 著

日本経済新聞出版社

「世界のフラット化」によって仕事を奪われないために、先進国の人々は何をすべきなのか?フラット化という重大な試練を乗り越えるための具体的な方法を論じる。新章を追加、最終章もアップデートした増補改訂版。

2008:1./ 485p 978-4-532-31378-4 ¥2,200〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18



夜と霧 新版

ヴィクトール・E.フランクル 著

みすず書房

心理学者、強制収容所を体験する - 。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である 1977 年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲惨をあますところなく描く。

978-4-622-03970-9 ¥1,650〔稅込〕

2002:11./ 169p



日本経済新聞 2023/03/18



僕とアンモナイトの1億年冒険記

相場大佑 著

イースト・プレス

新種のアンモナイト化石の名づけ親になったり、博物館で展示を作ったり...。時に悩みながらも古生物学研究を一歩ずつ進めていく著者が、大学時代から現在までに歩んできた道のりをありのままに記す。

2023:1./ 221p 978-4-7816-2155-5 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



異性装~歴史の中の性の越境者たち~(インターナショナル新書 117)

中根 千絵/本橋 裕美/東 望歩/江口 啓子/森田 貴之/日置 貴之/阪本 久美子/伊藤 慎吾 著

集英社インターナショナル

性を越境する異性装になぜ惹かれるのか。古典文学、歌舞伎、シェイクスピアなどに登場する異性装の意味を読み解き、それらのアニメ、演劇、BL など現代の文化やジェンダーへの影響を考察する。

2023:2./ 264p 978-4-7976-8117-8 ¥1,023〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/18



そして市場は続く~那覇の小さな街をたずねて~

橋本倫史 著

本の雑誌社

70 年以上の歴史を持つ沖縄県那覇市の第一牧志公設市場。地元で愛され観光地としても賑わう場所の建て替え工事は、市場の人々にどんな影響を及ぼしたのか? 時代の変化の相貌を 4 年間にわたる丹念な取材で捉えた濃厚な記録。

2023:3./ 333p 978-4-86011-476-3 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



定本想像の共同体~ナショナリズムの起源と流行~(社会科学の冒険)

ベネディクト・アンダーソン 著

図書新聞

マルクス主義理論にとって厄介な「変則」であり続けた「ナショナリズム」。このナショナリズムの「変則」を解釈するため、ナショナリティとナショナリズムという文化的人造物を理論的出発点にして、試論を提供する。

2007:7./ 386p,10p 978-4-88611-508-9 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/18



坂本龍一 音楽の歴史

吉村 栄一 著

小学館

音楽家・坂本龍一の生誕から現在までを包括した音楽評伝。著者が記録した貴重な肉声と未公開エピソードに加え、これまでに発表された雑誌、新聞、ライナーノーツなどのインタビューを踏まえて綴る。

日本経済新聞 2023/03/25

2023:2./ 447p 978-4-09-388882-0 ¥3,300〔税込〕





安倍晋三回顧録

安倍晋三/橋本五郎/尾山宏 著中央公論新社

一次政権の崩壊後に確信したこと、米中露との駆け引き、乱高下する支持率…。安倍晋三が「孤独」「決断」「暗闘」を語る。2020年10月?21年10月に計18回、36時間にわたって行われた未公開インタビューを書籍化。

2023:2./ 472p 978-4-12-005634-5 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/25



柳田國男先生随行記

今野 圓輔 著河出書房新社

太平洋戦争開戦 1 か月前。東京から九州まで、柳田國男の九州講演旅行に同行した著者による、17 日間の鉄道紀行。辛辣かつユーモラスな、柳田國男の素の姿が伝わる貴重な記録。「随行後記」「先生との対話抄」も収録。

2022:3./ 211p 978-4-309-03031-9 ¥2,475〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/25



少子化するアジア〜家族形成の困難を超えて〜

溝口 由己 著 日本評論社

いまともに極低出生率に直面する東アジア。低出生率の原因は何か。共通点はあるのか。少子化要因を類型化し、資本蓄積に有利な社会編成ではなく、人間性重視の社会 編成を提案する。 2023:2./ 7p,271p 978-4-535-54026-2 ¥6,270〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/25



韓国と日本の女性雇用と労働政策~少子高齢化社会への対応を比較する~

裵 海善 著

明石書店

少子高齢化を背景に、女性雇用に関する法・制度整備が急速に進む韓国。韓国の女性 労働の実態、政府の政策、労働市場の状況、関連法の変化について日本との比較のも とに整理し、最新のデータや政策を豊富に織り込んで紹介する。 2022:3./ 225p 978-4-7503-5363-0 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/25



ママにはならないことにしました \sim 韓国で生きる子なし女性たちの悩みと幸せ \sim

チェ・ジウン 著

晶文社

「母性が足りない」「一人前になれない」「自分勝手」。なんと言われようとも私はこの人生が気に入っている・。出生率が「1」を切る現代の韓国で、子どもを持たずに生きる女性たちのインタビューを収録する。

日本経済新聞 2023/03/25

2022:8./ 296p 978-4-7949-7326-9 ¥1,980〔稅込〕





くたかけ

小池 昌代 著 鳥影社

海辺の町に暮らす三世代の女たち。一家にからみつく奇妙な男。男の持ち込んだ三羽の鶏。彼は宗教者か、犯罪者か。家族のねじが狂い始めて…。ゆるやかに解体される家族の物語。『季刊文科』連載を書籍化。

2023:2./ 252p 978-4-86265-993-4 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/25



まんぷくモンゴル!〜公邸料理人、大草原で肉を食う〜(わたしの旅ブックス 044)

鈴木 裕子 著

産業編集センター

羊のしっぽが一番のご馳走!? 飲み会はいつもオールナイト? 給食のおばちゃんから モンゴルの公邸料理人になった著者が、知られざる遊牧民の食と暮らしを紹介する。 コラム「これを食べたい!モンゴルごはん」も掲載。 2023:3./ 239p 978-4-86311-356-5 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2023/03/25



現代戦略論~大国間競争時代の安全保障~

高橋 杉雄 著

並木書房

世界で最も厳しい安全保障環境に置かれている日本。「大国間競争の時代」においてなお、日本が現状維持を実現するための新たな戦略「統合海洋縦深防衛戦略」を提唱する。

2023:1./ 234p 978-4-89063-430-9 ¥1,760〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/25



音楽学への招待(春秋社音楽学叢書)

沼野 雄司 著

春秋社

大作曲家の「駄作」、「モーツァルト効果」論争、音楽と小説のエクフラシス、図形楽譜の読みとり方、プロレスのテーマ音楽、FBIと作曲家…。音楽に関するさまざまな対象を、学問領域を横断し、多彩な切り口で考察する。

2023:1./ 6p,269p,12p 978-4-393-93040-3

¥2.860〔稅込〕



日本経済新聞 2023/03/25、読売新聞 2023/03/26



反戦と西洋美術(ちくま新書 1707)

岡田 温司 著

筑摩書房

西洋の美術は反戦への思いをどのように表現してきたのか。勝者の側で描かれた時代から激甚化する戦争の時代を背景に描かれた「戦争画」の倫理的・感性的・政治的な役割を巡り、揺れる「反戦」のイメージの変遷を捉えなおす。

日本経済新聞 2023/03/25、読売新聞 2023/03/26

2023:2./ 200p 図版 16p 978-4-480-07529-1 ¥990〔税込〕





漢字の動物苑~鳥・虫・けものと季節のうつろい~

円満字 二郎 著

岩波書店

鳥や虫、哺乳動物や爬虫類、両生類などの名前を漢字で表し語源をたずねれば、謎や 奇妙なことがいっぱい。漢字の成立ちにまで遡り、なぜそうなったかを大胆に推理す る。『図書』連載に加筆して単行本化。 2023:1./ 12p,216p,2p 978-4-00-061579-2

¥2,420〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/04



ぼんぼん(岩波少年文庫 197)

今江 祥智 著

岩波書店

突然の父の死、祖母の死、そして戦争がはじまった…。日々の暮らしのなかで何が変わり、何がなくなっていったのかを、多感な時期を迎えた少年・洋の目を通して綴る。著者の体験を基にした物語。

2010:7./ 494p 978-4-00-114197-9



¥968〔稅込〕

毎日新聞 2023/03/04



安岡章太郎短篇集(岩波文庫 31-228-1)

持田 叙子 編

岩波書店

ユーモラスにして清新な文章で新時代の到来を告げたデビュー作「ガラスの靴」。 「故郷」「サアカスの馬」「父の日記」等、戦後日本文学を代表する短篇小説の名 手、安岡章太郎の秀作全 14 篇を収録。 2023:2./ 336p 978-4-00-312281-5 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2023/03/04



森?外、自分を探す(岩波ジュニア新書 961)

出口 智之 著

岩波書店

幕末に生まれて巻き込まれた明治の激動、「舞姫」の裏側にあった本当の恋愛、まだ近代文学の形が定まらないなかで賭けた文筆の道…。その時代の感覚に立ち作品や資料を読み解き、自分探しに悩む森?外の姿を浮き彫りにする。

2022:12./ 12p,220p 978-4-00-500961-9

¥968〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/04



ひとりでしにたい<1>(モーニング KC)

カレー沢 薫、ドネリー美咲 著

講談社

死ぬのは怖い。だけど人は必ず死ぬ。ならば誰より堂々と、私は一人で死んでやる。 一人でよりよく死ぬためには、よりよく生きるしかない。愛と死をひたむきに見つめるフォービューティフルヒューマンライフストーリーの決定版誕生!

毎日新聞 2023/03/04

2020:3./ 188p 978-4-06-518993-1

¥704〔稅込〕





女のイイ顔~田辺聖子のエッセイ~

田辺聖子 著

中央公論新社

ゆきづまったら「とりあえずお昼」-。女性の人生をあたたかく見つめた田辺聖子の エッセイを精選。楽しく生きるヒントに満ちたアンソロジー。佐藤愛子のエッセイ 「お聖さんの幸福」も収録する。 2022:12./ 251p 978-4-12-005607-9 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2023/03/04



防衛省に告ぐ〜元自衛隊現場トップが明かす防衛行政の失態〜(中公新書ラクレ 785)

香田洋二 著

中央公論新社

意思疎通に問題がある防衛省と自衛隊、イージスアショア問題が浮き彫りにした防衛省の独善、教訓生かされぬ日米同盟…。元・海上自衛隊自衛艦隊司令官が防衛行政の失態を明らかにする。

2023:1./ 261p 978-4-12-150785-3 ¥946〔税込〕



毎日新聞 2023/03/04



学校では教えてくれない生活保護(14歳の世渡り術)

雨宮 処凛 著

河出書房新社

自分と大切な人の命・生活を守るためのひとつの手段、生活保護。今、生活保護をめぐって起きていることをはじめ、生活保護の内容、韓国・ドイツの生活保護などを解説。生活保護の実態と、生き延びるノウハウ・情報を紹介する。

2023:1./ 227p 978-4-309-61747-3 ¥1,562〔税込〕



毎日新聞 2023/03/04



亜細亜の漢字ロゴデザイン

Viction:ary 編

グラフィック社

日・中・韓の漢字タイポグラフィが満載! ロゴからフォントまで、古代に生まれた文字を現代的でフレキシブルなデザインの要素へと変身させた 100 以上のプロジェクトを掲載。漢字にしかないユニークな表現を伝える。

2023:1./ 303p 978-4-7661-3714-9 ¥4,620〔税込〕



毎日新聞 2023/03/04



震災復興はどう引き継がれたか〜関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災

北原 糸子 著

藤原書店

関東大震災を、都市計画等のみの視点でなく、避難民・犠牲者・罹災者という"人間" に焦点をあてて描いた「関東大震災の社会史」を収録。それを中心に、近代復興の系 譜を、関東大震災、昭和三陸津波、東日本大震災へと辿る。

毎日新聞 2023/03/04

2023:1./ 506p 図版 12p 978-4-86578-376-6 ¥5,830〔税込〕





自転車と女たちの世紀~革命は車輪に乗って~(ele - king books)

ハナ・ロス 著

Pヴァイン

19世紀、女たちはレンガや卵、腐った野菜などを投げつけられても自転車を漕ぐの を止めなかった。そしてそれが世界を変えた-。自由のマシンに乗った自転車女たち の痛快かつ命がけの実話集。

2023:1./ 479p 978-4-910511-38-2 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2023/03/04



新型コロナワクチンの光と影~誰も報じなかった事実の記録~

大石 邦彦 著

方丈社

重い後遺症に苦しむ人、そして接種後の死亡例も数多く存在する新型コロナワクチ ン。その"事実"を、地上波局として初めて継続的に報道した CBC テレビ取材チーム の、コロナ禍3年間の記録。

2023:3./ 253p 978-4-910818-03-0 ¥1,760〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/04



102 歳、一人暮らし。~哲代おばあちゃんの心も体もさびない生き方~

石井 哲代/中国新聞社 著

文藝春秋

物事は良いほうに考える、喜びの表現は大きく-。健康で長生きするための習慣や 「うまいこと老いる」極意を紹介。おいしい長生きレシピも収録する。自分らしく心 をご機嫌に保つヒントが満載。『中国新聞』連載を書籍化。

2023:1./ 157p 978-4-16-391646-0 ¥1,540〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/04、朝日新聞 2023/03/11



ネット右翼になった父(講談社現代新書 2691)

鈴木 大介 著

講談社

老いて右傾化した父と、子どもたちの分断。「現代の家族病」に融和の道はあるの か? 父と家族の間にできた分断に挑む家族再生の道程を、ルポライターの長男が綴 る。

2023:1./ 244p 978-4-06-530889-9

¥990〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/04、東京・中日新聞 2023/03/05、朝日新聞 2023/03/18



四日間家族

川瀬 七緒 著

KADOKAWA

自殺を決意した夏美は、ネットで?がった同じ願望を持つ3人と車で山へ向かう。夜 更け、車中で練炭に着火しようとした時、森の奥から赤ん坊の泣き声が。一時的に赤

ん坊を保護した4人は、連れ去りの汚名を着せられ...。

毎日新聞 2023/03/05

2023:3./ 317p 978-4-04-113450-4 ¥1,870〔稅込〕





星くずの殺人

桃野 雑派 著

講談社

完全民間宇宙旅行のモニターツアーで、宇宙ホテル「星くず」に着いた途端見つかった死体。それも無重力空間で首吊り状態だった。添乗員の土師穂稀は、会社の指示に従いツアーの続行を決めるが...。

2023:2./ 318p 978-4-06-528954-9 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2023/03/05



台湾の少年<1> 統治時代生まれ

游 珮芸/周 見信 著

岩波書店

1930年、日本統治時代の台湾に生まれた蔡焜霖は、教育者になることを夢見て育つ。戦後、国民党政権による支配が始まるが、ある日町役場で働く焜霖のもとへ憲兵が訪ねてきて…。白色テロの深い傷を描く台湾の歴史コミック。

2022:7./ 169p 978-4-00-061545-7 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



台湾の少年<2> 収容所島の十年

游 珮芸/周 見信 著

岩波書店

1950年、無実の罪で逮捕された蔡焜霖は、激しい拷問に遭い、自白を強要され、政治犯として離島に送られる。そして 10 年間、強制労働に従事し、「再教育」を受け…。白色テロの深い傷を描く台湾の歴史コミック。

2022:7./ 189p 978-4-00-061546-4 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



台湾の少年<3> 戒厳令下の編集者

游 珮芸、周 見信 著

岩波書店

1960年、ようやく釈放された蔡焜霖は幼馴染の「きみこ」と再会し、結婚する。やがて漫画雑誌の編集者となると、新たなアイディアを次々と実現するが…。白色テロの深い傷を描く台湾の歴史コミック。

2022:10./ 183p 978-4-00-061547-1 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



台湾の少年<4> 民主化の時代へ

游 珮芸/周 見信 著

岩波書店

70 年代、蔡焜霖は大企業に新たな活躍の場を得る。時代は民主化へ向かって激しく 揺れ動くが、緑島に収容された人びとの名誉回復には、さらに長い時間が必要だった …。白色テロの深い傷を描く台湾の歴史コミック。

毎日新聞 2023/03/11

2023:1./ 173p 978-4-00-061548-8 ¥2,640〔税込〕





光が死んだ夏<1>(角川コミックス・エース)

モクモク れん 著

KADOKAWA

ある集落で暮らす少年、よしきと光。同い年の2人はずっと一緒に育ってきた。 しかしある日、よしきが光だと思っていたものは別のナニカにすり替わっていたことに確信を持ってしまう。 それでも、一緒にいたい。 友人の姿をしたナニカとの、いつも通りの日々が始まる。

2022:3./ 1 冊(ページ付なし) 978-4-04-112273-0

¥704〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/11



光が死んだ夏<2>(角川コミックス・エース)

モクモク れん 著

KADOKAWA

ある集落で共に育ってきた少年、よしきと光。 しかし、よしきはある日、光が別のナニカにすり替わっていたことに確信を持つ。 姿かたちは全く同じ完璧な「ヒカル」。 よしきは何故、すり替わりに気付くことができたのか。 彼の口から語られる真実とは...。

2022:10./ 1 冊(ページ付なし) 978-4-04-112960-9



毎日新聞 2023/03/11



幼な子の聖戦(集英社文庫 き 28-1)

木村 友祐 著

集英社

東京で挫折。入信しかけた新興宗教に幻滅して、史郎は故郷に戻り村議になる。村長 選の不正工作に加担させられた史郎の破壊的衝動を描く表題作と、ビルの窓拭きの職 人たちを活写する「天空の絵描きたち」を収録。 2023:1./ 269p 978-4-08-744477-3 ¥693〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/11



朝のあかり〜石垣りんエッセイ集〜(中公文庫 い 139-1)

石垣りん 著

中央公論新社

自分の住むところには自分で表札を出すにかぎる-。銀行の事務員として働き、生家の家計を支えながら詩作をつづけた著者は、50歳で川辺の1DKを手に入れ…。ひとりを味わう詩人の暮らしぶりが息づくエッセイ集。

2023:2./ 314p 978-4-12-207318-0 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



天と地と<上>(文春文庫)

海音寺 潮五郎 著

文芸春秋

戦国史上最も戦巧者であり、いまなお語り継がれる武将・上杉謙信の半生と武田信玄との川中島合戦の死闘を活写した大河歴史小説!!

毎日新聞 2023/03/11

2004:3./ 482p 978-4-16-713543-0 ¥880〔辩ジ





天と地と<中>(文春文庫)

海音寺 潮五郎 著 文芸春秋 毎日新聞 2023/03/11 2004:3./ 444p 978-4-16-713544-7 ¥880〔税込〕

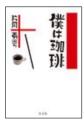




天と地と<下>(文春文庫)

海音寺 潮五郎 著 文芸春秋 毎日新聞 2023/03/11 2004:3./ 470p 978-4-16-713545-4 ¥880〔稅込〕





僕は珈琲

片岡義男 著

光文社

初体験モーニング・サーヴィス、珈琲についての映画、刑事コロンボと珈琲…。シニア世代、サブカル愛好者にはたまらない、珈琲にまつわる **52** 篇の書き下ろしエッセイと短篇小説 **1** 篇を収録。

2023:1./ 267p 978-4-334-95358-4 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



ただいま、おかえり。~3.11 からのあのこたち~

石井 麻木 著

世界文化社

「月命日にひとりでいたくない」 その声をきいてから、毎月 11 日に訪れることに決めました-。2011 年から 12 年間、毎月東北に通い続ける写真家が、なにげない日々のたいせつさと生きるメッセージを伝える写真絵本。

2023:2./ 48p 978-4-418-23814-9 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



ある行旅死亡人の物語

武田 惇志/伊藤 亜衣 著

毎日新聞出版

現金 3400 万円を残して孤独死した身元不明の女性。あなたは一体誰ですか? 「名もなき人」の半生を追った、記者たちの執念のルポルタージュ。『47NEWS』掲載記事を大幅に加筆し再構成。

2022:11./ 214p 978-4-620-32758-7 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



貧しかったが、燃えていた~釜ケ崎で生きる人々 昭和ブルース編~

解放出版社

写真機を肩に日雇い労働し、全国の労働者と日本の姿を見てきた庄司丈太郎が、三角公園、萩之茶屋通り、西成労働福祉センター前、新今宮駅などで生きる人々を撮影したモノクローム写真集。

978-4-7592-5139-5 ¥5,500〔税込〕

2022:11./ 215p



毎日新聞 2023/03/11



岩は、動く。

矢内廣 著

ぴあ

未来を生み出したのは、いつも発明と感謝だった-。インターネットも SNS もない時代に、どこにもない事業を次々に生み出したびあ創業者・矢内廣。その成功と失敗のすべて、アイデアと経営哲学を綴る。

2022:12./ 242p 978-4-8356-4670-1 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



「能力」の生きづらさをほぐす

勅使川原 真衣 著

どく社

ときは 2037 年。急降下した上司の評価で病める息子を救うため、死んだはずの母さんがやってきた!? 生きづらさを生み出す能力社会の実態を、教育社会学と組織開発の視点でときほぐし、より良く生きる方法を模索する物語。

2022:12./ 262p 978-4-910534-02-2 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11



インタビュー ザ・大関〜運と人を味方につける〜(双葉文庫 た-43-02)

武田 葉月 著

双葉社

約 700 名の力士がいるなか、十両になれれば成功者と言われる大相撲の世界で、ほぼ頂点を極めた大関。23 名の大関経験者が、相撲人生を語る。霧島×小錦の対談も収録。『小説推理』掲載を書籍化。

2023:2./ 278p 978-4-575-71495-1 ¥792〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11、朝日新聞 2023/03/18



ルポ筋肉と脂肪~アスリートに訊け~

平松 洋子 著

新潮社

人は身体から離れては生きられない。相撲部屋の親方、オリンピックでメダルをもたらす栄養士など、理想の身体を作り上げるプロに取材し、体脂肪などのメカニズムにも踏み込むルポルタージュ。『小説新潮』掲載を加筆修正。

2023:1./ 379p 978-4-10-306475-6 ¥2,310〔税込〕



毎日新聞 2023/03/11、日本経済新聞 2023/03/25、毎日新聞 2023/03/25、東京・中日新聞 2023/03/26



「情報自由法」で社会を変える!~情報開示最強ツールの実践ガイド~(岩波ブックレット No.1073)

ジョン・ミッチェル 著

岩波書店

専門家やジャーナリスト、米国人でなくても、米国政府の文書にアクセスできる「情報自由法」。ジャーナリストがその最強使用法を徹底解説する。申請書や不服申立てに必要な英文サンプルレターも収録する。

毎日新聞 2023/03/18

2023:1./ 78p,6p 978-4-00-271073-0

¥682〔稅込〕





また会う日まで

池澤夏樹 著

朝日新聞出版

海軍軍人、天文学者、クリスチャンとして、戦前、戦中、戦後を生きた秋吉利雄。この3つの資質はどのように混じり合い、たたかったのか。史実を融合した歴史小説。朝日新聞連載を加筆修正し単行本化。

2023:3./ 723p 978-4-02-251897-2 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



精神医療の現実(角川新書 K-414)

岩波 明著

KADOKAWA

トラウマ、PTSD、発達障害、フロイトの呪縛…。その流行や誤用はなぜ繰り返されるのか。現役医師が多くの事例とエピソードを交えつつ、その歴史や根深い誤解と偏見、出口の見えない課題が残り続ける内外の現実を直言する。

2023:2./ 273p 978-4-04-082389-8 ¥1,034〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18

ポケットに名言を 改版(角川文庫)

寺山 修司著

角川書店

世に名言・格言集の類は数多いけれど、これほど型破りな名言集はきっとない。歌謡曲から映画の名セリフ。思い出に過ぎない言葉が、ときに世界と釣り合うことさえあることを示す型破りな箴言集。

2005:1./ 184p 978-4-04-131524-8 ¥440〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



逆襲する宗教~パンデミックと原理主義~(講談社選書メチエ 780)

小川 忠 著

講談社

クリスチャン・ナショナリストが陰謀論を叫ぶ米国、反イスラムの動きが先鋭化するインド…。パンデミックに揺れる世界で、いま何が起こっているのか? 危機の到来で急速に前景化した宗教と社会の問題を国別に平易に解説する。

2023:2./ 236p 978-4-06-530973-5 ¥1,925〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



藤井聡太はどこまで強くなるのか〜名人への道〜(講談社+α新書 836-2C)

谷川 浩司 著

講談社

最年少名人記録は破られるのか。それとも、彼に勝つ棋士が現れるのか-。棋界における名人位の意味、過酷さを増す戦い、そのすべてを知るレジェンドが、さらに進化する藤井将棋に迫る。

2023:1./ 220p 978-4-06-531040-3 ¥990〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/18



アウシュヴィッツを破壊せよ~自ら収容所に潜入した男~<上>

ジャック・フェアウェザー 著

河出書房新社

ポーランド工作員、ヴィトルト・ピレツキ。収容所に潜入し、収容所内でレジスタンス組織を立ち上げ、ナチスの犯罪を暴き、破壊する。それが彼の任務-。ナチス最大の悪の震源地でスパイ活動をした男の足跡を追う。

2023:1./ 291p 978-4-309-22877-8 ¥3,190〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



アウシュヴィッツを破壊せよ~自ら収容所に潜入した男~<下>

ジャック・フェアウェザー 著

河出書房新社

死の工場へと拡大する収容所を世界へ知らしめるべく、ヴィトルトは脱出を決意する。ワルシャワに戻った彼を待ち受ける悲劇、そして慟哭の結末が…。ナチス最大の悪の震源地でスパイ活動をした男の足跡を追う。

2023:1./ 279p 978-4-309-22878-5 ¥3,190〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



他人の家

ソン・ウォンピョン 著

祥伝社

格安の超優良物件だが、4人で違法にルームシェアをする部屋で暮らすことになったション。そんなある日、オーナーが急遽部屋を訪れ…。表題作をはじめ、ミステリー、近未来 SF、小説「アーモンド」の番外編など全8編を収録。

2023:2./ 266p 978-4-396-63638-8 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



世界が知らない日本の絶景 366 日~最も美しい季節に旅する~

ZEKKEl Japan 著

世界文化社

世界が知らない&日本人も知らない穴場を含む、日本の絶景をカラー写真で紹介。雪景色、神秘的な鳥居、透き通る清流、紅葉や桜など、四季折々の美しい絶景を季節別 &47 都道府県別に収録し、解説を付す。 2022:12./ 383p 978-4-418-22226-1 ¥2,420〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/18



ジョーン・ロビンソンとケインズ〜最強の女性経済学者はいかにして生まれ たか〜

安達貴教 編

ナヒド・アスランベイグイ/ガイ・オークス 著

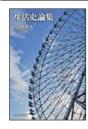
慶應義塾大学出版会

20世紀を代表する女性経済学者、ジョーン・ロビンソンは、男性社会であるケンブリッジ大学の知識人の中で、いかにして自らの地位を確立し研究成果を認められたのか。ケインズを巡る人間模様を膨大な書簡から詳細に描き出す。

毎日新聞 2023/03/18

2022:11./ 399p 978-4-7664-2840-7 ¥5,940〔税込〕





生活史論集

岸 政彦 編 ナカニシヤ出版

社会学的質的調査の最前線。マニラの強制的な立ち退き、地域スティグマ、身体障害者の介助現場…。生活史の語りに基づく、社会学者 10 人の論文を収録。思想誌『at プラス』掲載の特集を基に単行本化。

2022:12./ 29p,491p 978-4-7795-1694-8 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



彼女

戸田 恵梨香 著ワニブックス

戸田恵梨香が息を吹き込み演じてきた"彼女"たちが教えてくれたこと。誰も知らなかった"戸田恵梨香"のこと…。女優・戸田恵梨香の今のすべてを詰めたトークエッセイ集。インタビューをもとに構成する。写真も掲載。

2023:1./ 215p 978-4-8470-7261-1 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



木陰の歴史~感情の源泉としての樹木~

アラン・コルバン 著

藤原書店

眼前の一本の樹木をみつめることによってこそ、ひとは感情を揺さぶられ、自らの心の深みを垣間見る。樹木と対話し、祈り、ときには心身を委ねてきた、古代から現代に至る人間の感情の歴史を、文学・芸術・史料を通じて描く。

2022:11./ 485p 図版 16p 978-4-86578-366-7 ¥4,950〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



消えた「四島返還」〜安倍×プーチン北方領土交渉の真相〜 完全版

北海道新聞日口取材班 編

北海道新聞社

北方領土問題の解決を目指し、安倍首相は「2島返還」へ方針転換した…。日口交渉の舞台裏をウクライナ侵攻後まで描いた北海道新聞取材班の記録。ロシアによるクリミア半島併合を巡る日本政府の対応を詳述するなどした完全版。

2022:12./ 429p 978-4-86721-085-7 ¥2,530〔税込〕



毎日新聞 2023/03/18



千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがない ままルーマニア語の小説家になった話

済東 鉄腸 著

左右社

受験コンプレックス、鬱、クローン病。八方塞がりの苦しみから、ルーマニア語が救ってくれた-。千葉の実家にひきこもり、独学でルーマニア語を学び、現地の文芸誌に短編小説を掲載している著者のノンフィクションエッセイ。

毎日新聞 2023/03/18、朝日新聞 2023/03/25

2023:2./ 253p 978-4-86528-350-1 ¥1,980〔税込〕





菅江真澄図絵の旅(角川ソフィア文庫 J138-1)

石井 正己 編 菅江 真澄 著

KADOKAWA

江戸時代、菅江真澄という漂泊の旅人がいた。北東北や南北海道をくまなく歩き、好 奇心のおもむくままに筆をとる。祭り、信仰、大自然、アイヌの暮らし、縄文土器な ど、森羅万象を描いた貴重な図絵 112 点をフルカラーで収録。 2023:1./ 350p 978-4-04-400679-2 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2023/03/25



?

松下 隆一 著

講談社

博奕から足を洗った、余命わずかの貧乏蕎麦屋、銀平。ある時、かつての自分を彷彿とさせる青年・清太が転がり込んだ。銀平は、清太や店の客らとの交流に、人生を前向きに捉えるようになるが...。『小説現代』掲載を単行本化。

2023:2./ 236p 978-4-06-529782-7 ¥1,815〔税込〕



毎日新聞 2023/03/25



よき時を思う

宮本 輝 著

集英社

90歳の記念に祖母が計画した、家族のための豪華絢爛な晩餐会。そこに秘められた 16歳の日の出会いと別れの記憶…。孫の綾乃は祖母の生涯を辿り、語られずにきた 苦難と情熱を知る。『すばる』連載を単行本化。

2023:1./ 379p 978-4-08-771822-5 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2023/03/25



ケーキの切れない非行少年たち(新潮新書 820)

宮口 幸治 著

新潮社

認知力が弱く、「ケーキを等分に切る」ことすらできない-。人口の 10 数%いるとされる「境界知能」の人々に焦点を当て、彼らを学校・社会生活で困らないように導く超実践的メソッドを公開する。

2019:7./ 182p 978-4-10-610820-4

¥792〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/25



ボブ・ディラン(新潮新書 986)

北中 正和 著

新潮社

ノーベル文学賞を受賞したミュージシャン、ボブ・ディラン。時に剽窃まがいと批判されても、なぜ高く評価されるのか? 音楽評論の第一人者が、数々の名曲の歴史的背景を分析し、ロック界最重要アーティストの本質に迫る。

978-4-10-610986-7 ¥836〔税込〕

2023:2./ 190p



毎日新聞 2023/03/25



好きになってしまいました。

三浦 しをん 著

大和書房

「キュン」のある毎日は、おおむね幸せです-。愛と笑いと妄想に満ちた三浦しをんの日常、ときどき非日常。2012年から2022年のあいだにいろいろな雑誌・新聞で書いたエッセイをまとめる。

2023:2./ 302p 978-4-479-68178-6 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2023/03/25



そのビジネス、経済学でスケールできます。

ジョン・A・リスト 著

東洋経済新報社

スケールアップ(規模拡大)するアイデアと小さく終わるアイデアの違いとは? ウーバーのチーフエコノミストも務めた行動経済学者が、ビジネスと政策決定のための経済学実装の知恵を事例とともに公開する。

2023:2./ 35p,307p,21p 978-4-492-31546-0

¥2,090〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/25



芝居のある風景

矢野 誠一著

白水社

作品から連想された個人体験による心情を綴った演劇評。演劇作品にまつわる多彩なエピソードを織り交ぜながら、静かで深い感動をもたらす景色を新たに描き出す、東京人による「東京物語」。『都民劇場』連載を単行本化。

2023:3./ 214p 978-4-560-09493-8 ¥2,640〔稅込〕





毎日新聞 2023/03/25



世界を変えた 100 の手紙<上> 聖パウロからガリレオ、ゴッホまで

コリン・ソルター 著

原書房

歴史のターニングポイントとなったメモから世界的スキャンダルとなったメールまで、衝撃的な手紙を年代順に収録。上は、レオナルド・ダ・ヴィンチの手紙、ネルソン提督が戦闘前夜に送った信号旗のメッセージなどを紹介する。

2023:1./ 213p 978-4-562-07251-4 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2023/03/25



世界を変えた 100 の手紙<下> ライト兄弟からタイタニック号の乗客、スノーデンまで

コリン・ソルター 著

原書房

歴史のターニングポイントとなったメモから世界的スキャンダルとなったメールまで、衝撃的な手紙を年代順に収録。下は、タイタニック号の乗客が書いた手紙、ネルソン・マンデラの南アフリカ首相への最後通牒などを紹介する。

毎日新聞 2023/03/25

2023:1./ 213p 978-4-562-07252-1 ¥2,640〔税込〕





近代日本の「知」を考える。~西と東との往来~(叢書・知を究める 21)

宇野 重規 著

ミネルヴァ書房

あえて西日本に視座を置き、文学、美術、政治から 29 人の知識人を取り上げ、それぞれの主著の一節を手掛かりに、その生き方と人生そのものを探る。東京一辺倒な日本の知性史へのアンチテーゼ。

2023:1./ 5p,241p,7p 978-4-623-09530-8 ¥2,420〔稅込〕



毎日新聞 2023/03/25